



2026年度

山崎橋

福山市芦田町地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=18.6m 橋長 L=18.1m 有効幅員 W=2.5m 舗装工 A=46m ² 上フランジ充填工 L=32.6m 止水材設置工 L=21.7m 水切り材設置工 L=36.0m 地覆高欄補修工 N=2箇所 支承取替工 N=8基 当て板補修工 N=2箇所 ひび割れ補修工 L=0.3m 断面修復工 V=0.1m ³ 表面含浸工 A=100m ² 塗替塗装工 A=59m ² 仮設工 一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（山崎橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第5節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

本工事は広島県河川管理者との協議により、2026年（令和8年）6月16日から2026年（令和8年）10月20日の間、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。
受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：福山市上下水道局工務部管路整備課、NTT西日本
- ・協議内容：工事に支障となる占用物件の移設等について

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 鋼部材の既設塗料に含まれる物質

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料には下表に示す物質が含有していることが事前調査で判明している。

物質名	：含有量
鉛	：33000mg/kg
六価クロム	：120mg/kg
P C B	：0.39mg/kg

第4節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。

第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。ただし、同等以上の機能を有するものとする。
- ・内容：工事用道路、仮支点、仮排水管、施工ヤード、仮囲い、環境対策資機材、安全衛生保護具

第6節 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

- ・本工事では、土砂購入を見込んでいる。
- ・当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- ・上記により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。
- ・使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第7節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第8節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第9節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第10節 産業廃棄物（既設塗料の剥離やかき落とし作業で発生する廃棄物）PCB含有量及び鉛溶出量及び六価クロム溶出量基準値以下

- ・産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
 - ・塗料廃棄物は鋼製のドラム缶またはペール管、大型土のう袋等に密閉して保管し、速やかに処分するものとする。また、使用した作業服等の保護具も同様に保管して処分するものとする。なお、本工事における作業服等の防護具の購入・処分の積上げ数量は、対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な数量を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による防護具の購入・処分の積上げ数量の増加に対する変更は行わない。
 - ・塗料廃棄物の処理に要する費用（運搬費を含む処理費）は、廃棄物処理法に基づき環境大臣が認可、または都道府県知事等が許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と処理費の合計が最も経済的になる下記住所の施設を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、塗料廃棄物の処理に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
 - ・受入施設住所：福山市箕沖町107-5
 - ・受入施設が求める各成分の溶出試験について次のとおり実施している。
- | 物質名 | 溶出量 |
|--------------|----------------|
| 鉛又はその化合物 | : 1.8mg/L |
| 六価クロム | : 0.05mg/L未満 |
| カドミウム又はその化合物 | : 0.022mg/L |
| ひ素又はその化合物 | : 0.005mg/L未満 |
| 水銀又はその化合物 | : 0.0005mg/L未満 |
| アルキル水銀化合物 | : 0.0005mg/L未満 |
| セレン又はその化合物 | : 0.005mg/L未満 |
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。次のとおり再利用すること。

第11節 工事現場発生品

- 次のとおり再利用すること。
- ・品名：スクラップ
- ・数量：250.1kg（想定）

第12節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和7年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.07.01(0)	凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
不陸整正 【補足材有無,補足材種類・規格】 【補足材整正厚】	1	式			Y1E02040101 レベル4
不陸整正 補足材料無し	1	m2			SPK25040234 00 単第0 -0001 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	1	m2			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	1	m2			SPK25040244 00 単第0 -0002 表
薄層表面処理工	1	式			Y1G030406 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薄層表面処理工 【舗装色,規格・仕様】		m2			Y1G03040607レベル4
薄層表面処理		m2			V0001 00
	45	m2			単第0 -0003 表
橋梁床版工					Y1G0318 レベル2
	1	式			
上フランジ充填工					Y1G031801 レベル3
	1	式			
上フランジ充填工					Y1G03180101レベル4
		橋			
上フランジ充填					V0002 00
	1	橋			単第0 -0004 表
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			
止水材設置工					Y1G032101 レベル3
	1	式			
止水材設置工 【工種,伸縮装置本体型式】 【仕様,伸縮装置本体材料の計上】		橋			Y1G03210103レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
止水材設置					V0003 00
	1	橋			単第0 -0006 表
橋梁用水切り材設置工					Y1G032103 レベル3
	1	式			
橋梁用水切り材設置工 【柵規格】					Y1G03210301 レベル4
		m			
橋梁用水切り材設置					V0004 00
	36	m			単第0 -0007 表
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			
地覆高欄補修工					Y1G032401 レベル3
	1	式			
地覆高欄補修工					Y1G03240101 レベル4
		橋			
地覆高欄補修					V0005 00
	1	橋			単第0 -0008 表
支承取替工					Y1G032402 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支承取替 【支承形式,下部工ブラケット取付の有無】 【支承直下部以外のはつりの有無】		基			Y1G03240201レベル4
支承取替(鋼橋)	8	基			V0006 00 単第0 -0014 表
当て板補修工	1	式			Y1G032403 レベル3
当て板補修工		m			Y1G03240301レベル4
当て板補修	1	橋			V0007 00 単第0 -0016 表
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 【材料種類】		構造物			Y1G03240402レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0026 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】		構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020039 00 単第0 -0027 表
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043 00 単第0 -0028 表
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) [無]DID区間 運搬距離_3.0km以下(2.0km超)	0.1	m3			S1020051 00 単第0 -0029 表
表面含侵工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理		m2			Y1G03240601レベル4
下地処理 時間的制約なし 高所作業車なし	100	m2			F0000000023 00
含浸材塗布 【材料種類】		m2			Y1G03240605レベル4
含浸材塗布	100	m2			V00017 00 単第0 -0031 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	1	式			
橋梁塗装工					Y1G032501 レベル3
	1	式			
素地調整 【素地調整種類】					Y1G03250101 レベル4
		m2			
素地調整 1種ケレン（循環式ブラスト法）					V00018 00
	59	m2			単第0 -0032 表
研削材及びケレンかす回収・積込工 研削材:グリット 場内集積・選別・積込					V00019 00
	59	m2			単第0 -0033 表
防食下地 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】					Y1G03250102 レベル4
		m2			
塗替塗装 下塗り塗装					SDT00029 00
	59	m2			単第0 -0034 表
下塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】					Y1G03250102 レベル4
		m2			
塗替塗装 下塗り塗装					SDT00029 00
	59	m2			単第0 -0035 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
中塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	59	m2			SDT00029 00 単第0 -0036 表
上塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	59	m2			SDT00029 00 単第0 -0037 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
舗装版切断 【舗装版種別, 舗装版の全体厚】		m			Y1G03270602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	3	m			SPK25040307 00 単第0 -0038 表
舗装版破碎 【舗装版種別, 舗装版厚】		m2			Y1G03270603レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	4	m2			SPK25040306 00 単第0 -0039 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	0.7	m3			SPK25040155 00 単第0 -0040 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離3.5km以下(1.5km超)	0.1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0041 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	2	t			T9005 00
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	0.3	t			T9006 00

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1G03271603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)	0.25	t			SPK25040411 00 単第0 -0042 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t積2.9t吊	0.25	t			SPK25040412 00 単第0 -0043 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH2) 厚さ3mm以上6mm未満，幅高500mm以下 長さ1,200mm以下，質量1,000kg以下	0.25	t			TH002688 00
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1G03271603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)	0.18	t			SPK25040411 00 単第0 -0044 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
特別管理産業廃棄物受入費	1	式			V00020 00 単第0 -0045 表

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
任意仮設工					Y1G032801 レベル3
	1	式			
工事用道路 【施工幅員】					Y1G03280101 レベル4
		式			
工事用道路					V00021 00
	1	式			単第0 -0046 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
仮設材処分費 工事用道路					V00022 00
	1	式			単第0 -0057 表
任意仮設工					Y1G032802 レベル3
	1	式			
仮支点 【Co規格,幅,長さ,高さ】					Y1G03280215 レベル4
		式			
仮支点					V00023 00
	1	式			単第0 -0058 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
任意仮設工					Y1G032808 レベル3
	1	式			
仮排水管					Y1G03280803 レベル4
		式			
仮排水管					V00029 00
	1	式			単第0 -0068 表
任意仮設工					Y1G032810 レベル3
	1	式			
施工ヤード					Y1G03281001 レベル4
		式			
施工ヤード					V00030 00
	1	式			単第0 -0070 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
仮設材処分費 施工ヤード					V00031 00
	1	式			単第0 -0071 表
任意仮設工					Y1G032815 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮囲い 【作業区分】		m			Y1G03281501レベル4
仮囲い	1	式			V00032 00 単第0 -0072 表
任意仮設工	1	式			Y1G032816 レベル3
環境対策資機材 【作業区分,基礎形式,高さ】	1	式			Y1G03281602レベル4
環境対策資機材	1	式			V00034 00 単第0 -0075 表
安全衛生保護具 【柵高,作業区分】		式			Y1G03281603レベル4
安全衛生保護具	1	式			V00035 00 単第0 -0076 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1G03282101レベル4
		人			

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	128	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
		t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 7.5km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0077 表
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費					YZZ09001 レベル3
	1	式			
呼吸用保護具等費用					YZZ09001002レベル4
		式			
呼吸器用保護具					V00036 00
	1	式			単第0 -0080 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					

本工事費 内訳表

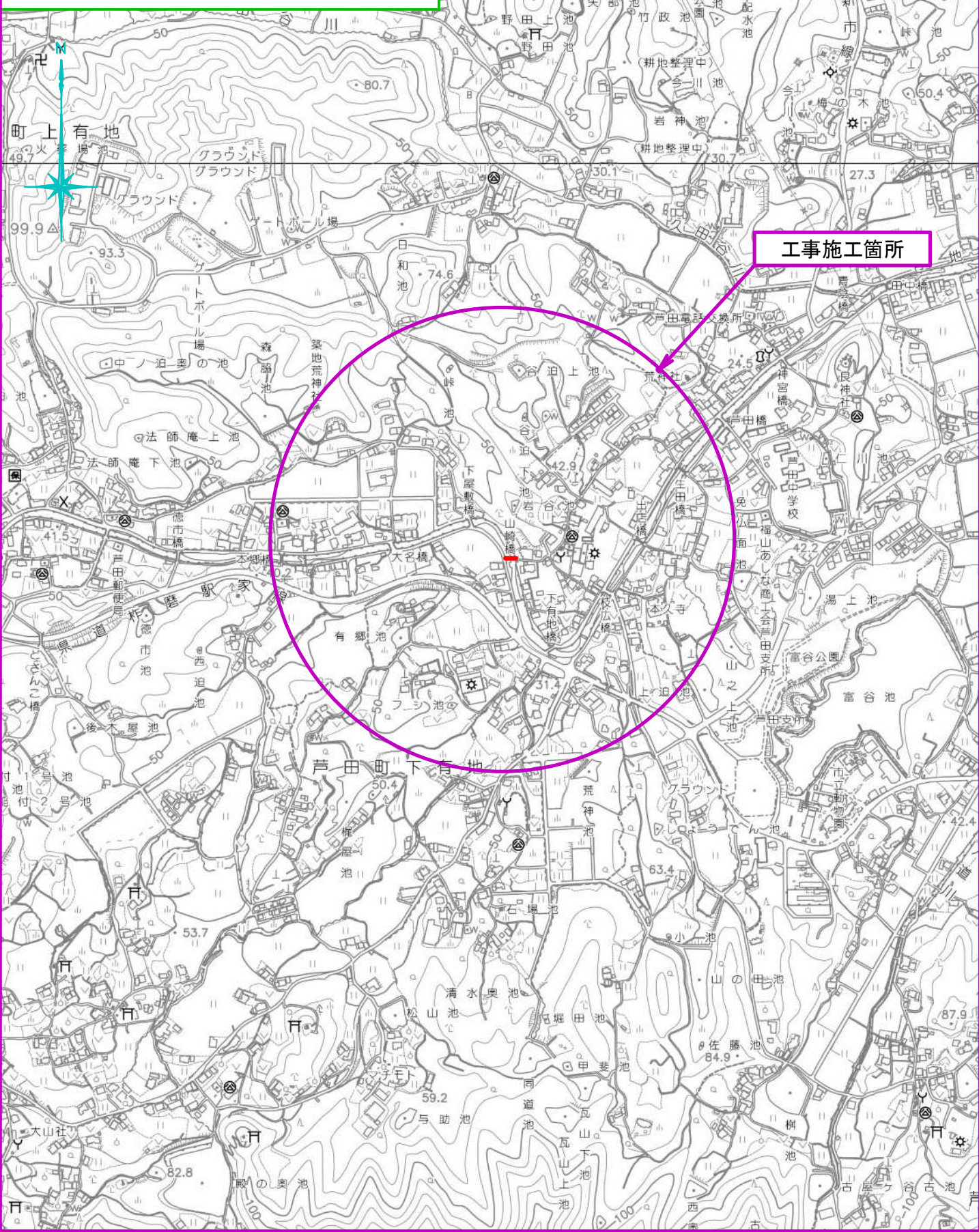
頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

図面番号	1 / 15	縮 尺	S=1:10,000
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市芦田町地内		

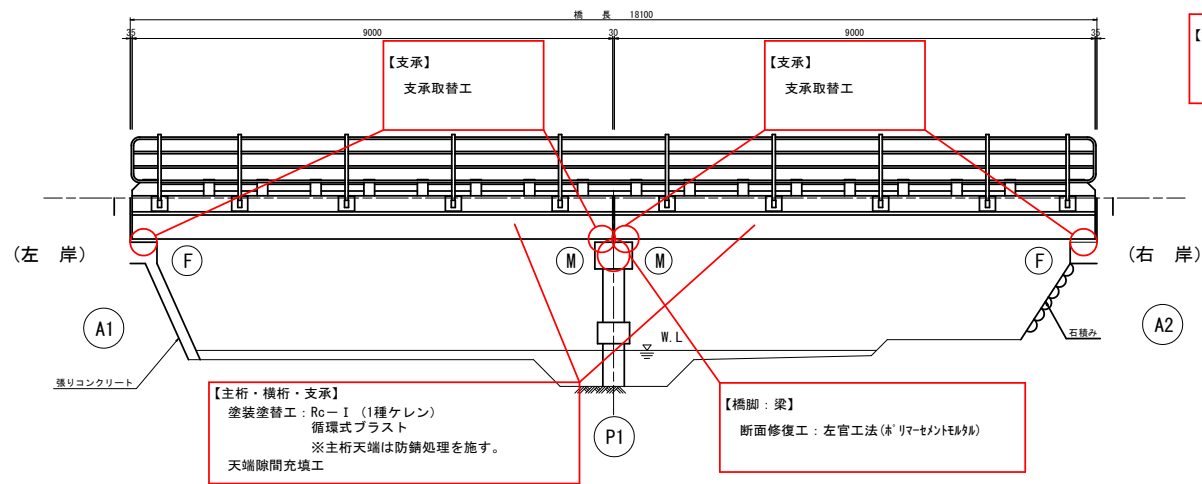


福 山 市

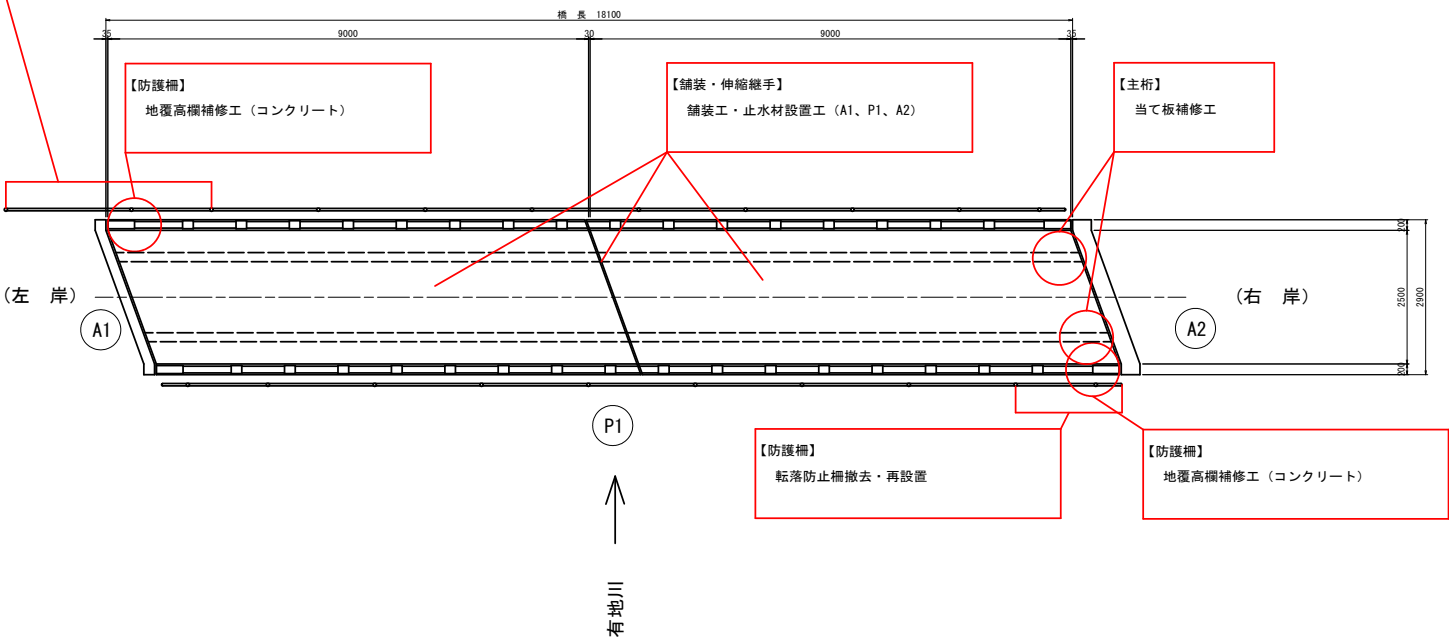


山崎橋 橋梁補修一般図

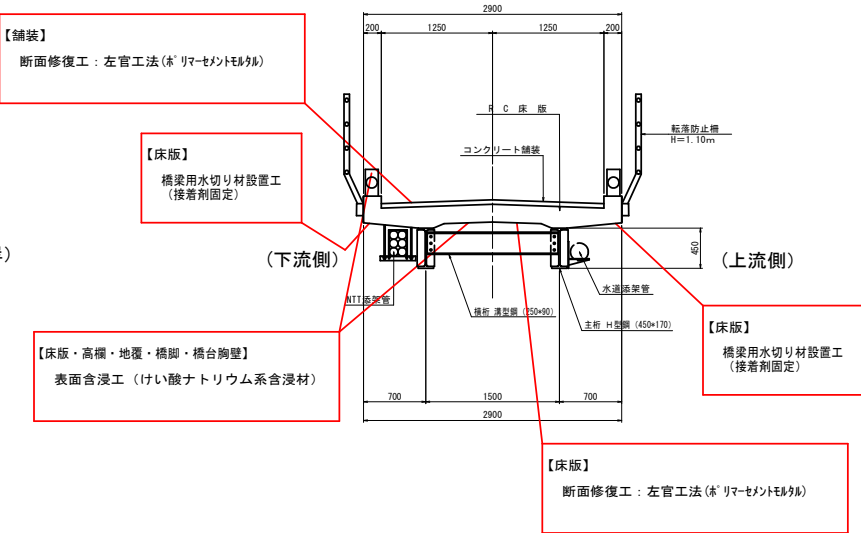
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



中間断面図 S=1:30



橋梁諸元

橋梁名	山崎橋（ヤマサキバシ）
橋長	18.100m
全幅員	2.900m
上部工形式	桁橋 H型鋼（非合成）
下部工形式	重力式橋台・バイルベント橋脚
基礎形式	不明

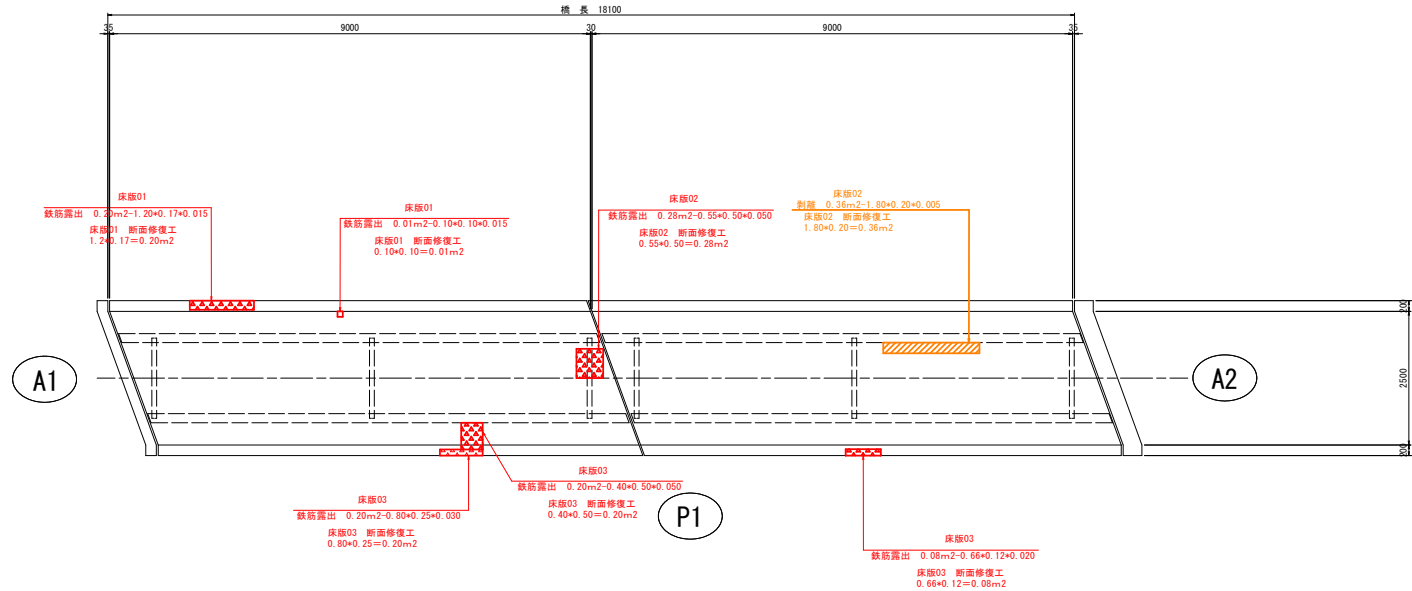
令和8年度
国
補

図面番号	2/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	橋梁補修一般図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市戸田町地内		
福 山 市			

山崎橋 床版補修図

S=1:50

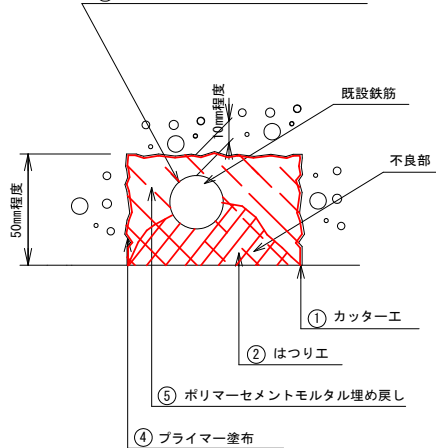
上部工床版下面図



断面修復工

t=5cm

③ 錆落とし後防錆ペースト塗布



補修工法 凡例

損 傷	記 号	補修対策工法	補 修 数 量
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積 (m2) と長さ×幅 (m) を示す。	 0.08m2-0.40×0.20	断面修復工	1径間床版01: 鉄筋露出-幅0.17m × 長さ1.20m=0.20m2 1径間床版01: 鉄筋露出-幅0.10m × 長さ0.10m=0.01m2 1径間床版02: 鉄筋露出-幅0.55m × 長さ0.50m=0.28m2 1径間床版03: 鉄筋露出-幅0.50m × 長さ0.40m=0.20m2 1径間床版03: 鉄筋露出-幅0.25m × 長さ0.80m=0.20m2 2径間床版03: 鉄筋露出-幅0.12m × 長さ0.66m=0.08m2 合計 1径間=0.89m2 2径間=0.08m2 Σ=0.97m2
うき・剥離 図中の数値は面積 (m2) と長さ×幅 (m) を示す。	 0.08m2-0.40×0.20	断面修復工	2径間床版02: 剥離-幅0.20m × 長さ1.80m=0.36m2

令和8年度
国
補

図面番号	3/15	縮 尺	図 示	
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）			
種 別	床版補修図	番 号	1	3
橋 梁 名	山崎橋			
工事箇所	福山市芦田町地内			
福 山 市				

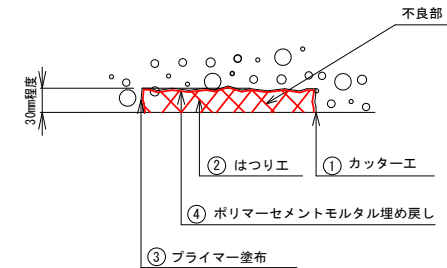
P1 橋 脚

起点正面図

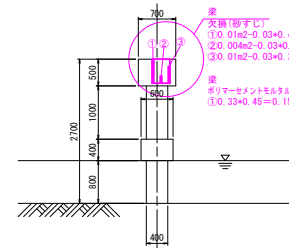
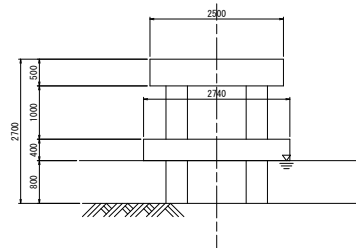
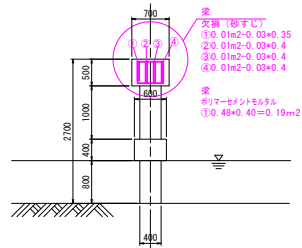
下流側面図

断面修復工(無筋)

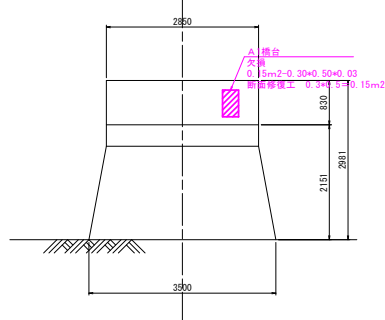
t=3cm



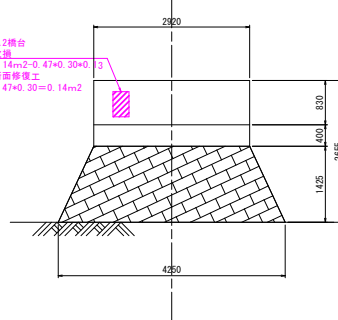
上流側面図



A1 橋 台
正 面 図

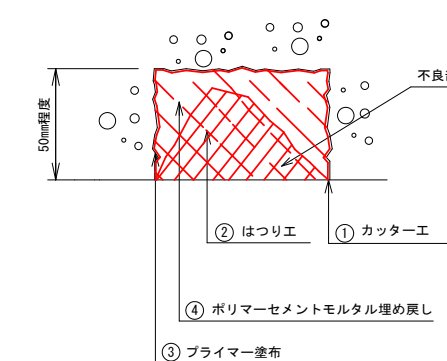


A2 橋 台
正 面 図



断面修復工(無筋)

t=5cm



補修工法 凡例

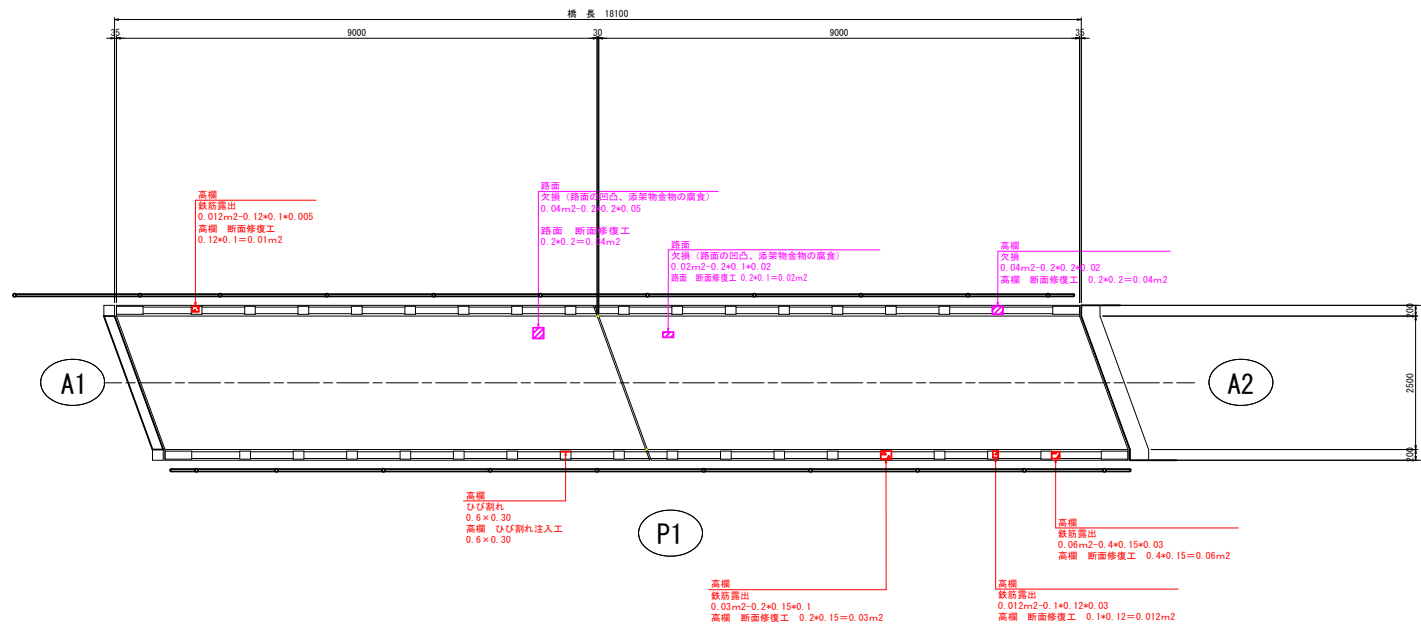
損 傷	記 号	補修対策工法	補 修 数 量
変形・欠損 図中の数値は面積 (m2) と長さ×幅 (m) を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工 (無筋)	梁側面上流側：欠損(砂すじ)-④幅0.48m × L=0.40m=0.19m2 小計0.19m2 梁側面下流側：欠損(砂すじ)-③幅0.33m × L=0.45m=0.15m2 小計0.15m2 合計0.34m2
変形・欠損 図中の数値は面積 (m2) と長さ×幅 (m) を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工 (無筋)	A1胸壁：欠損-幅0.30m × 0.50m=0.15m2 A2胸壁：欠損-幅0.30m × 0.47m=0.14m2 合計 0.29m2

令和8年度
国
補

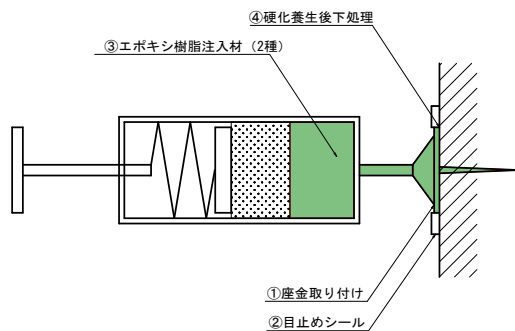
図面番号	4/15	縮 尺	図 示	
工 事 名	橋梁修繕工事 (山崎橋)			
種 別	下部工補修図	番 号	2 / 3	
橋 梁 名	山崎橋			
工事箇所	福山市戸田町地内			
福 山 市				

山崎橋 高欄・路面補修図 S=1:50

上部工橋面図



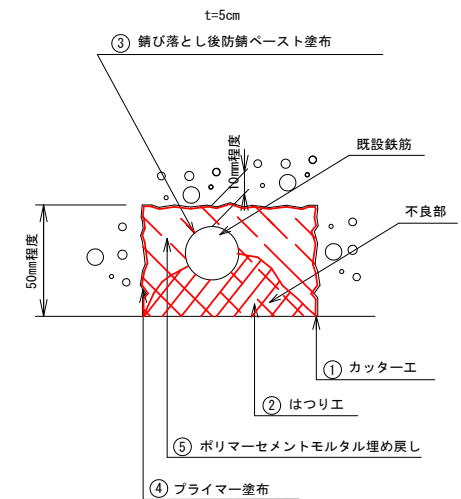
ひび割れ注入工



補修工法 凡例

損 傷	記 号	補修対策工法	補 修 数 量
剥落・鉄筋露出 図中の数値は面積 (m ²) と長さ×幅 (m) を示す。	 0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工	1径間高欄下流側：鉄筋露出-幅0.10m × 長さ0.12m=0.01m ² 2径間高欄上流側：鉄筋露出-幅0.15m × 長さ0.20m=0.03m ² 2径間高欄上流側：鉄筋露出-幅0.12m × 長さ0.10m=0.01m ² 2径間高欄上流側：鉄筋露出-幅0.40m × 長さ0.15m=0.06m ² 合計 1径間=0.01m ² 2径間=0.10m ² Σ=0.11m ²
変形・欠損 図中の数値は面積 (m ²) と長さ×幅 (m) を示す。	 0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工	1径間路面：欠損-幅0.20m × 0.20m =0.04m ² 2径間路面：欠損-幅0.10m × 0.20m =0.02m ² 2径間高欄下流側：欠損-幅0.20m × 0.20m =0.04m ² 合計 0.10m ²
ひびわれ (0.2~1.0mm) 図中の数値は幅 (mm) と長さ (m) を示す。	 0.2×0.60	ひび割れ注入工	1径間高欄上流側：ひび割れ-幅0.6mm × 長さ0.30m

断面修復工



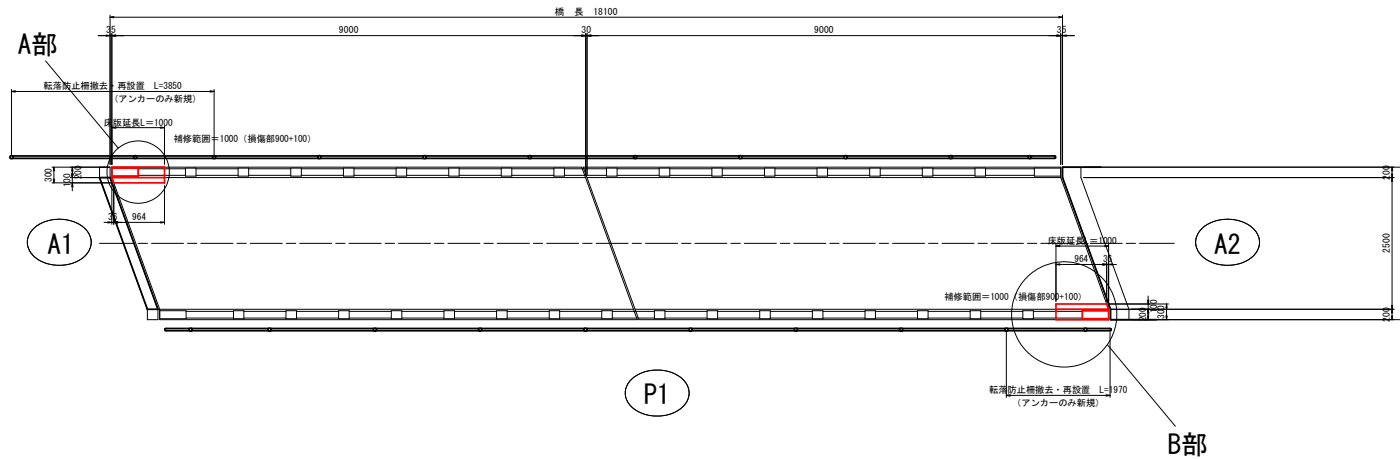
令和8年度
国
補

図面番号	5/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事 (山崎橋)		
種 別	高欄・路面補修図	番 号	3 / 3
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市戸田町地内		
福 山 市			

山崎橋 張出床版・親柱補修図

上部工橋面図

S=1:50

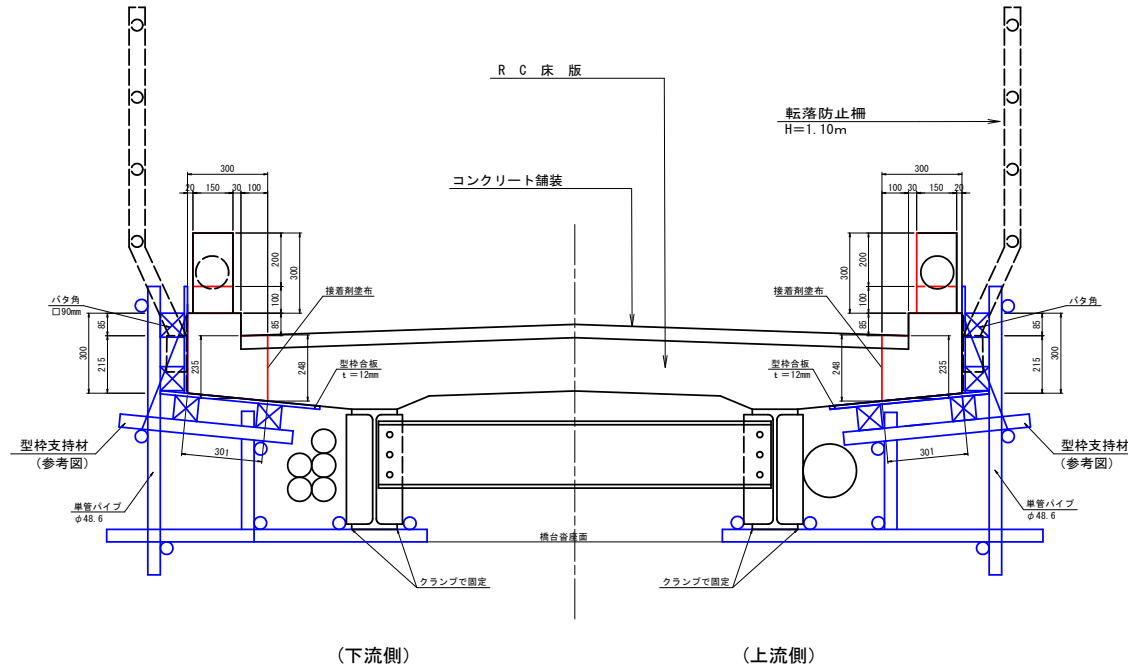


断面図

S=1:10

A部 参考図

B部 参考図

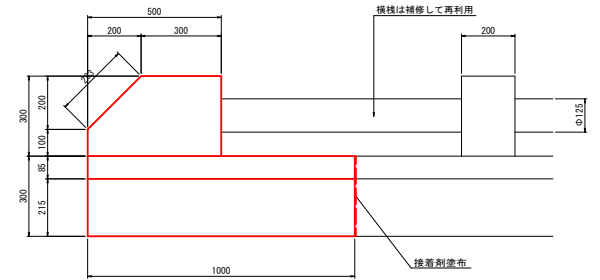


(下流側)

(上流側)

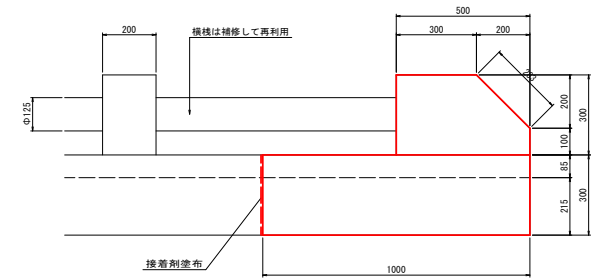
A部 詳細図

S=1:10



B部 詳細図

S=1:10



材料数量計算

コンクリート ($\sigma=24\text{kN/m}^2$)・コンクリート取り壊し

A部親柱: $V = (0.5 \times 0.3 - 0.2/2 \times 0.2) \times 0.15$	= 0.020m ³
B部親柱: $V = (0.5 \times 0.3 - 0.2/2 \times 0.2) \times 0.15$	= 0.020m ³
A部地盤: $V = 0.2 \times 0.085 \times 1.0$	= 0.017m ³
B部地盤: $V = 0.2 \times 0.085 \times 1.0$	= 0.017m ³
A部床版: $V = (0.215 + 0.235) / 2 \times 0.2 \times 1.0$	= 0.045m ³
A部床版: $V = (0.235 + 0.248) / 2 \times 0.1 \times (1.0 + 0.964) / 2$	= 0.024m ³
B部床版: $V = (0.215 + 0.235) / 2 \times 0.2 \times 1.0$	= 0.045m ³
B部床版: $V = (0.235 + 0.248) / 2 \times 0.1 \times (1.0 + 0.964) / 2$	= 0.024m ³
合計	= 0.212m ³

型枠

A部親柱: $(0.5 \times 0.3 - 0.2/2 \times 0.2) \times 2$	= 0.260m ²
A部親柱: $(0.1 + 0.283 + 0.3) \times 0.15$	= 0.102m ²
A部控除: $-\pi/4 \times 0.125^2 \times 2$	= -0.012m ²
A部床版: $(0.3 \times 0.085) \times 1.0 \times 0.085 \times 0.2$	= 0.002m ²
A部床版: 0.301×1.0	= 0.301m ²
B部親柱: $(0.5 \times 0.3 - 0.2/2 \times 0.2) \times 2$	= 0.260m ²
B部親柱: $(0.1 + 0.283 + 0.3) \times 0.15$	= 0.102m ²
B部控除: $-\pi/4 \times 0.125^2 \times 2$	= -0.012m ²
B部床版: $(0.3 \times 0.085) \times 1.0 \times 0.085 \times 0.2$	= 0.002m ²
B部床版: 0.301×1.0	= 0.301m ²
合計	= 2.106m ²

妻型枠 ($t=35\text{mm}$)

A部床版妻: $(0.215 + 0.235) / 2 \times 0.2 = 0.045\text{m}^2$	
A部床版妻: $(0.235 + 0.248) / 2 \times 0.1 = 0.024\text{m}^2$	
B部床版妻: $(0.215 + 0.235) / 2 \times 0.2 = 0.045\text{m}^2$	
B部床版妻: $(0.235 + 0.248) / 2 \times 0.1 = 0.024\text{m}^2$	
合計	= 0.138m ²

転落防止柵撤去・再設置

A部: $L=3.85\text{m}$	
B部: $L=1.97\text{m}$	
合計	= 5.82m

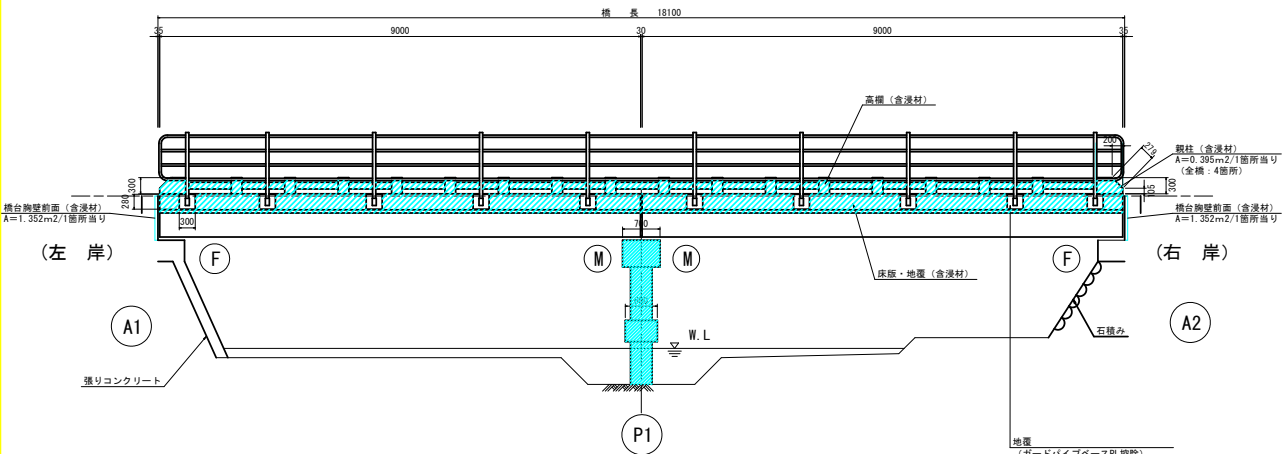
令和8年度
国
補

図面番号	6/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	張出床版・親柱補修図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

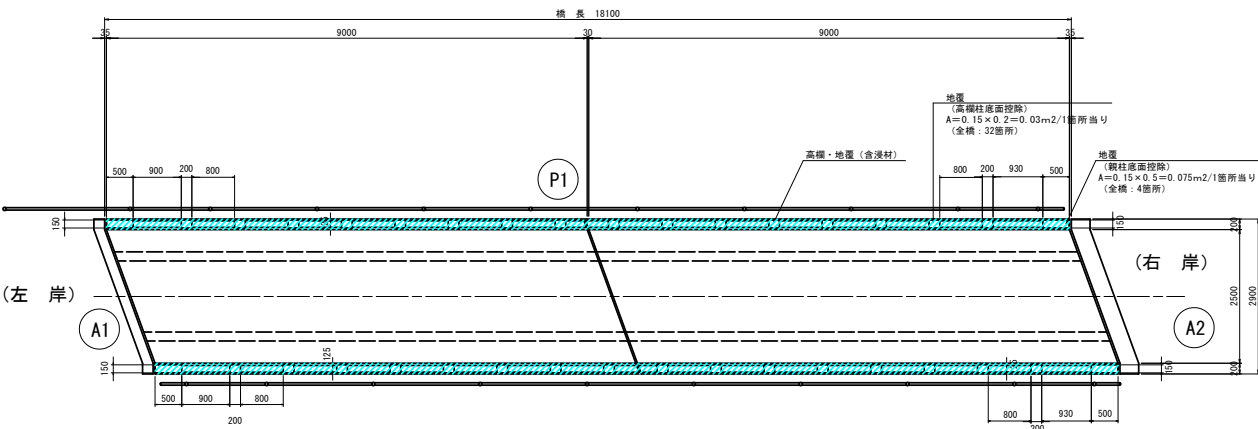
山 崎 橋 中性化対策補修図

(けい酸ナトリウム系含浸材)

側 面 図 S=1:50



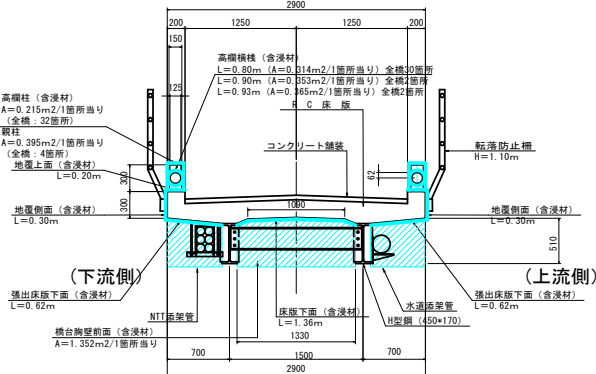
平 面 図 S=1:50



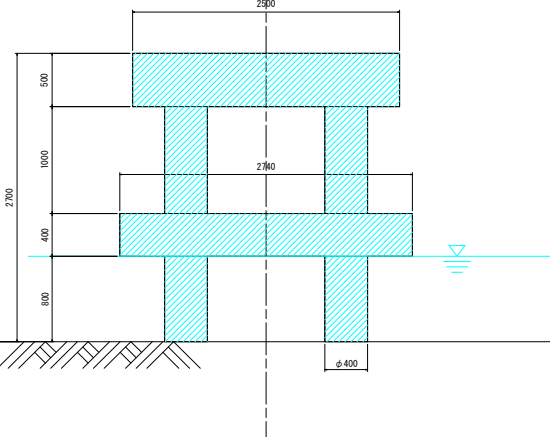
床版・高欄・地覆 含浸材塗布面積数量表

部 位	計算式	面積m2
床 版	$(1.36+0.62 \times 2) \times 9.0 \times 2$	46.80
高欄・親柱	$0.215 \times 32+0.395 \times 4+0.314 \times 30+0.353 \times 2+0.365 \times 2$	19.32
地 覆	$(0.30+0.20) \times 2 \times 9.0 \times 2-0.30 \times 0.28 \times 20-0.15 \times 0.20 \times 32-0.15 \times 0.50 \times 4$	15.06
橋 脚	$(2.50+0.70) \times 2 \times 0.5+ (2.74+0.60) \times 2 \times 0.4+0.400 \times \pi \times (1.00+0.80) \times 2$ $+2.50 \times 0.70 \times 2-0.12 \times 0.45 \times 4-0.400^2 \times \pi/4 \times 2+2.74 \times 0.60 \times 2-0.400^2 \times \pi/4 \times 2$	16.46
橋 台	1.352 \times 2 (面積はCAD計測)	2.70
合 計		100.34

中間断面図 S=1:30



P1 橋 脚
起点正面図



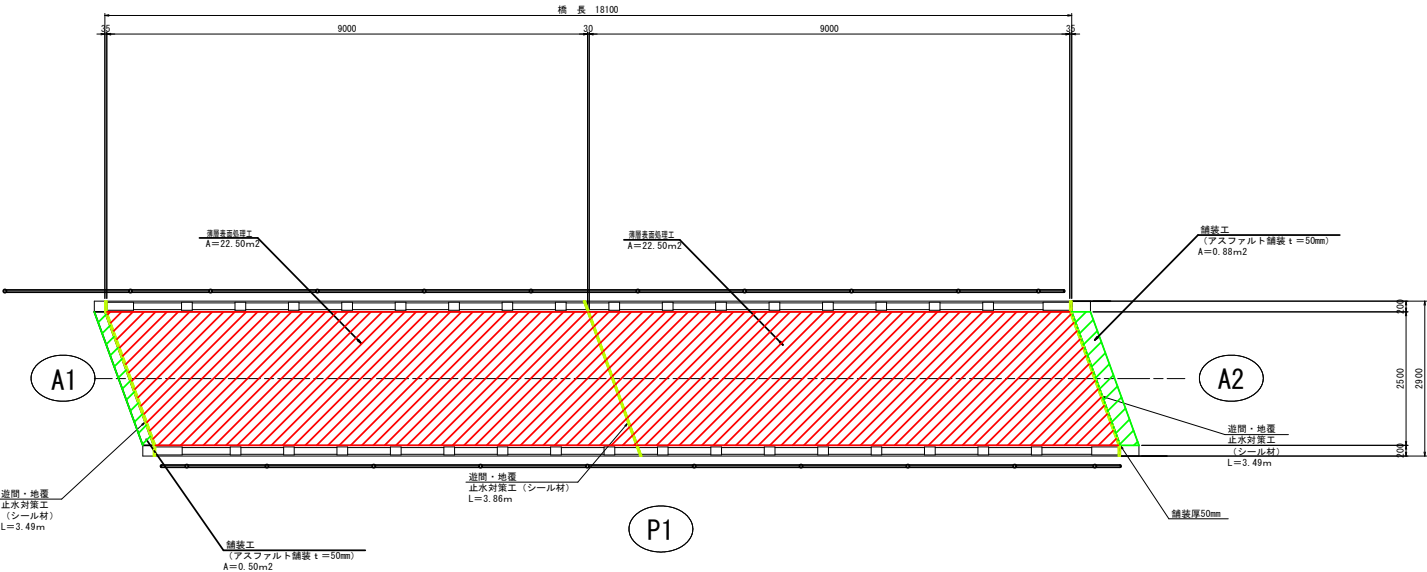
令和8年度
国
補

図面番号	7/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	中性化対策補修図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市戸田町地内		
福 山 市			

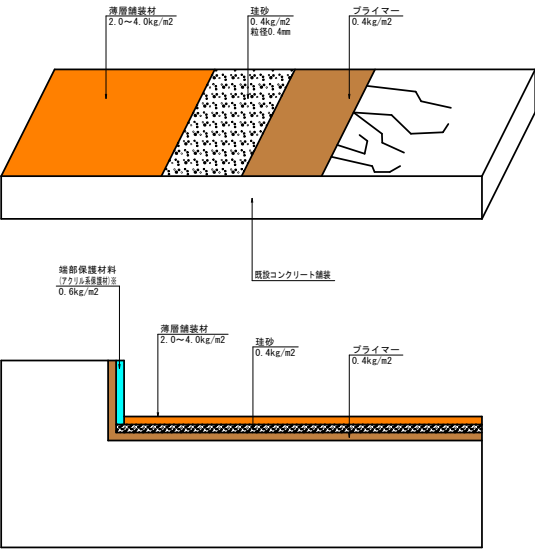
山崎橋 路面補修図

S=1:50

上部工橋面図



薄層表面処理工

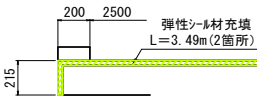


止水対策工（シール材）

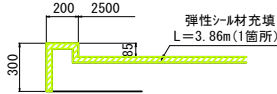
止水材設置 数量表

工 種		計算式	数量 (L)
シール材 (ポリブタジエン系)	P1	$3.86 \times 0.03 \times 0.03 \times 1000 \times 1$	3.47
	A1・A2	$3.49 \times 0.035 \times 0.035 \times 1000 \times 2$	8.55
	合計		12.02
シール材 (バックアップ材)	P1	$3.86 \times 0.03 \times 0.03 \times 1000 \times 1$	3.47
	A1・A2	$3.49 \times 0.035 \times 0.035 \times 1000 \times 2$	8.55
	合計		12.02

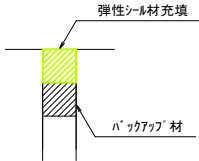
A1・A2地覆断面図



P1地覆断面図



止水対策詳細
t=35mm (A1・A2)、t=30mm (P1)



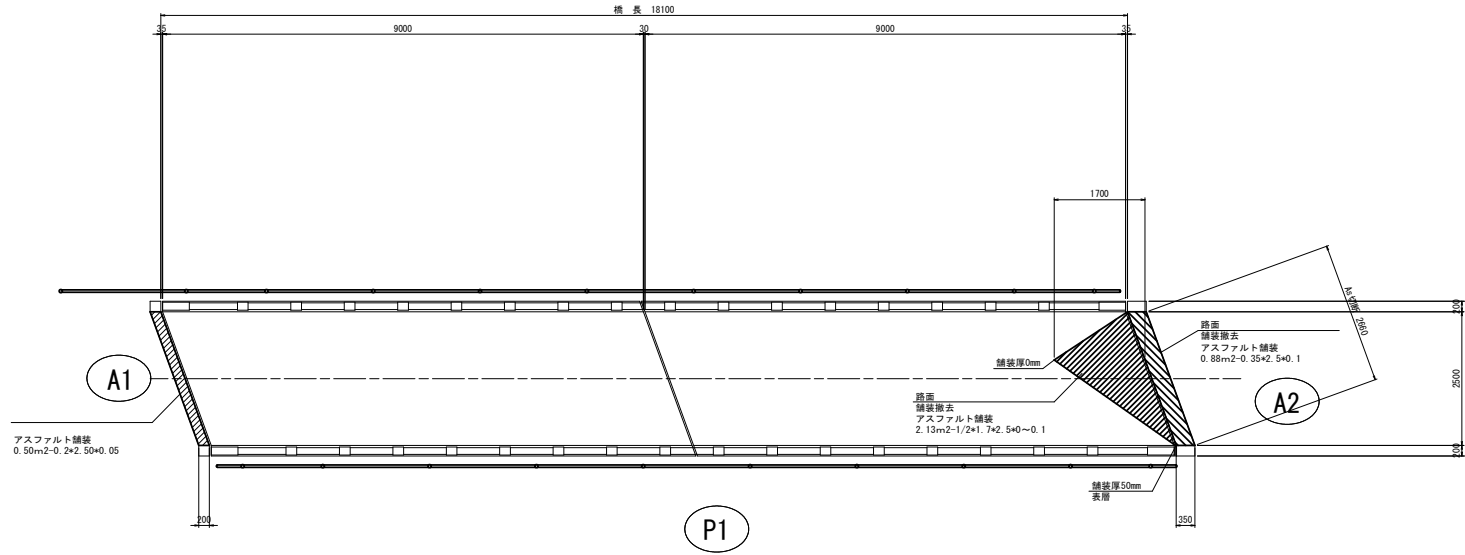
令和8年度
国
補

図面番号	8/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	路面補修図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市戸田町地内		
福 山 市			

山崎橋 舗装撤去図

S=1:50

上部工橋面図



路面 舗装撤去工数量表

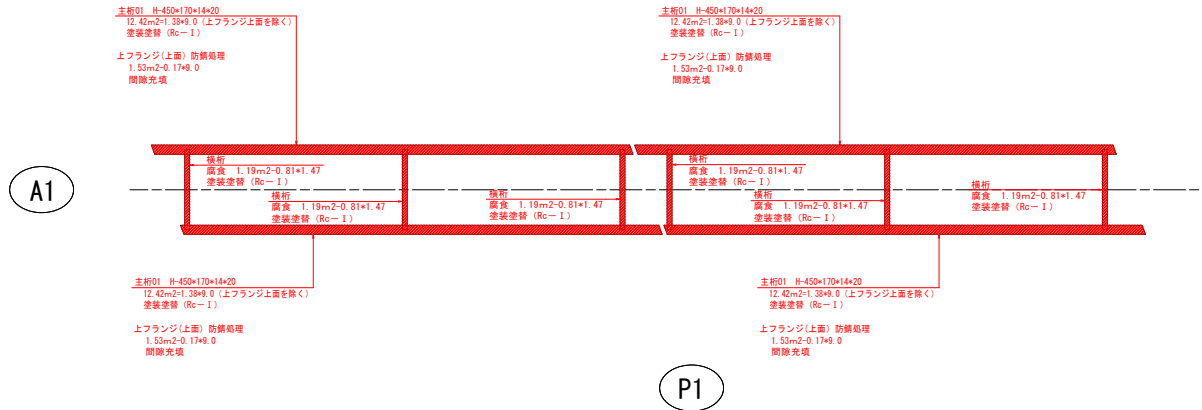
部 位	計算式	面積m ²
As舗装 (t=5cm)	0.2 × 2.5	0.50
As舗装 (t=0~5cm)	1/2 × 1.7 × 2.5	2.13
As舗装 (t=5cm)	0.35 × 2.5	0.88
As切断 (t=5cm)	2.66	2.66

令和8年度
国
補

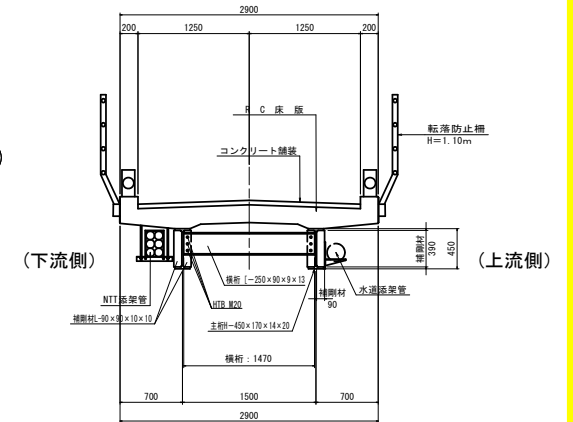
図面番号	9/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	舗装撤去図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市戸田町地内		
福 山 市			

山崎橋 塗装塗替補修図 S=1:50

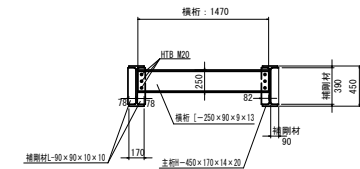
上部工鋼桁平面図



中間断面図 S=1:30



横桁詳細図 S=1:30



Rc-I 塗装系 (スプレー*1)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種 ※3		4時間以内
防食下地	有機ジクロリッペイント	600	1日～10日 *
下 塗	溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

* 1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上では、け、ローラーに変更もできる。
* 2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
* 3：プラスト処理による除せい度は ISO Sa2 1/2とする。

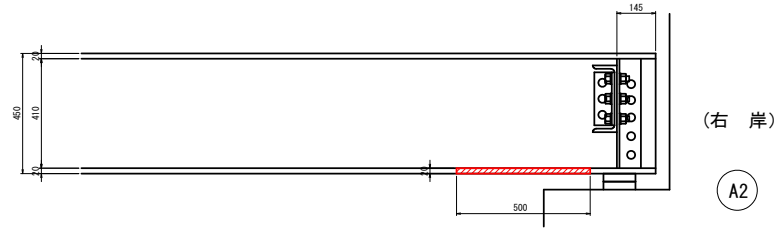
涂装涂替数量表

名 称	計 算 式	面 積
Rc-Ⅰ 塗装面積	数量計算書より	59.06 m ²

令和8年度
国
補

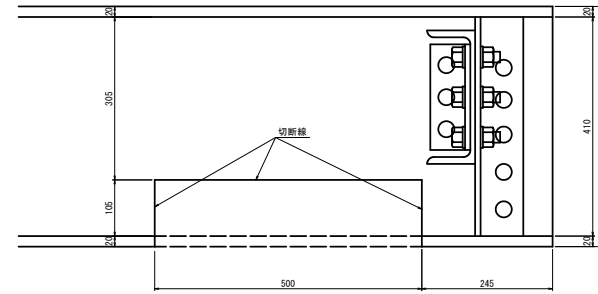
図面番号	10/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	笠管笠装補修図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

A-A断面図 S=1:10

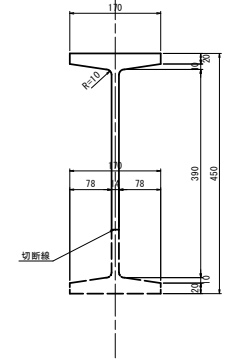


山崎橋 当て板補修図 (1)

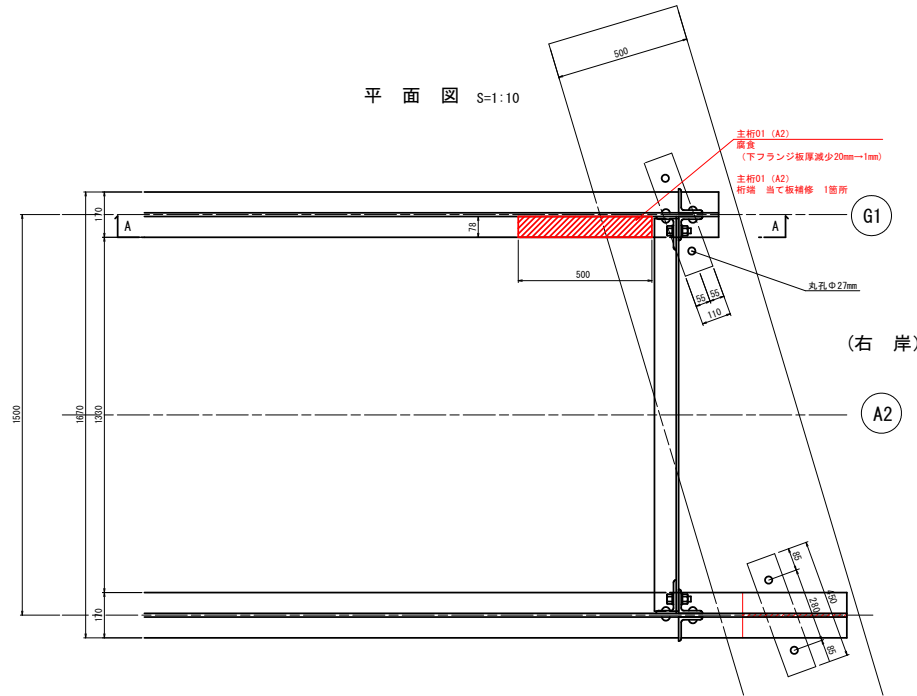
(主桁 G1)

補修前
主桁側面図 S=1:5

主桁断面図 S=1:5

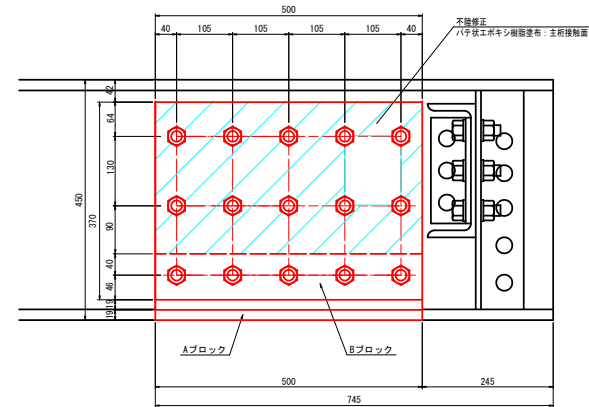


平面図 S=1:10

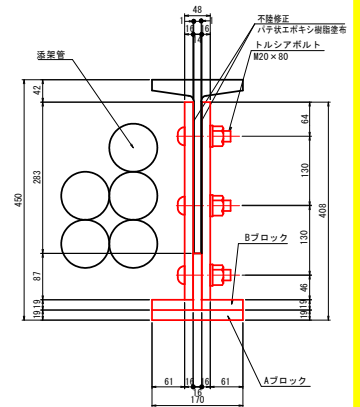


補修後

主桁側面図 S=1:5



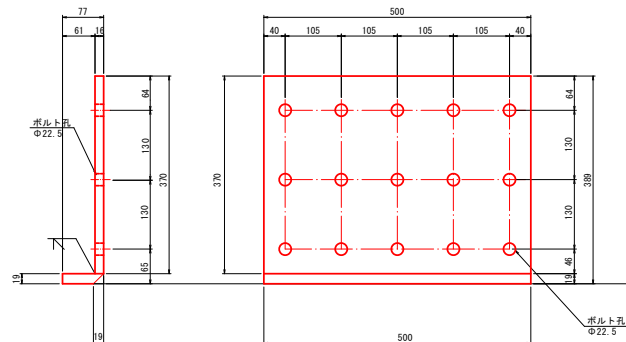
主桁断面図 S=1:5



断面図 S=1:5

Bブロック

側面図 S=1:5



Aブロック (SM400A)

1-PL 170*19*500

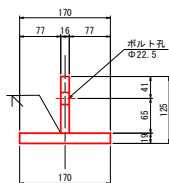
1-PL 106*16*500

Bブロック (SM400A)

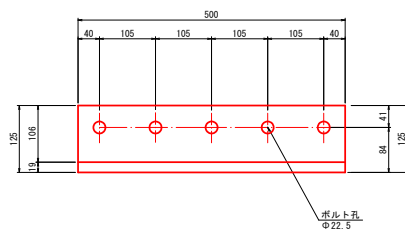
2-PL 77*19*500

2-PL 370*16*500

15-トルシアボルト M20*80 (S10T)

Aブロック
断面図 S=1:5

側面図 S=1:5

令和8年度
国
補

図面番号	11/15	縮 尺	図 示	
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）			
種 別	当て板修補図（1）	番 号	1 / 2	
橋 梁 名	山崎橋			
工事箇所	福山市芦田町地内			
福 山 市				

主桁側面図 S=1:5

平面图 S=1:10

(右岸)

A2

G2

1 A

1600

1470

170

1300

170

500

27mm

110

150

150

180

500

A-A断面 S=1:10

(主桁G2)

(右岸)

主桁02 (A2)
高負荷
(下フランジ破断・屈曲、ウェブ孔食)

主桁02 (A2)
桁端 当て板補修 1箇所

下フランジ
破断位置

断面図 S=1:5

側 面 図 S=1:5

Technical drawing of a rectangular plate with dimensions and bolt hole locations. The overall width is 530 and the overall height is 125. The plate has a central rectangular area outlined in red, which is 410 wide and 86 high. The distance from the left edge to the center of the first bolt hole is 40. The distance between the centers of the four bolt holes is 100, 95, 99, and 156. The distance from the center of the last bolt hole to the right edge is 40. The distance from the top edge to the center of the bolt holes is 106. The distance from the bottom edge to the center of the bolt holes is 86. A label 'ボルト孔' (Bolt Hole) with a pointer indicates the location of the bolt holes.

主桁側面図 S=1:5

Technical drawing of a door cross-section. The drawing shows a door with a handle and a lock mechanism. The door is shown in a closed position. The dimensions are as follows:

- Overall height: 2015
- Height of the door panel: 1935
- Height of the handle and lock mechanism: 80
- Width of the door panel: 530

The drawing includes a label "切斷線" (Cut line) indicating the location of the cut.

主桁断面图 S=1:5

[illegible]

Bブロック

断面图 S=1:5

側 面 図 S=1:5

Aブロック (SM400A)

1-PL 170*19*530

1-PL 106*16*530

Bブロック (SM400A)

2-PL 77*19*530

2—PL 370*16*530

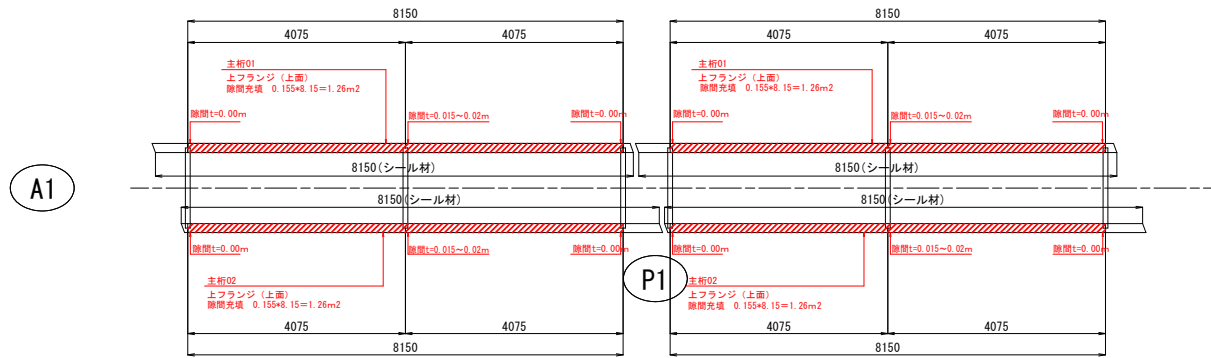
2-PL 61*9*370

令和8年度
国
補

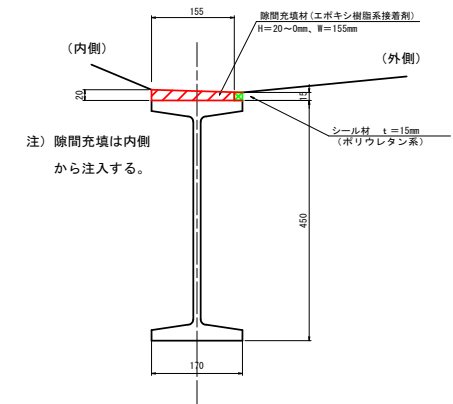
図面番号	12/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	当て板補修図（2）	番 号	2 / 2
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

山崎橋 上フランジ充填補修図

上部工鋼桁平面図 S=1:50



主桁断面図 S=1:5

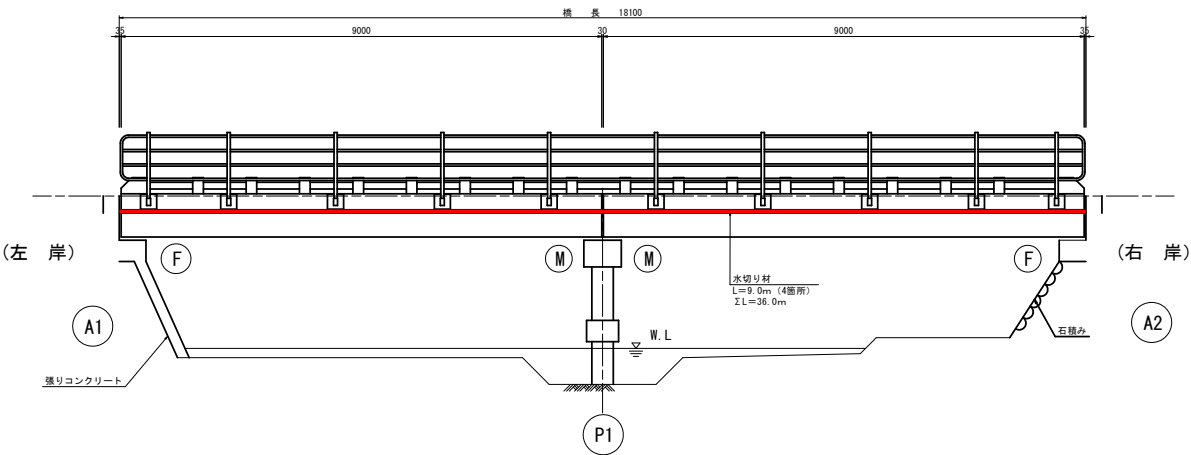


令和8年度
国
補

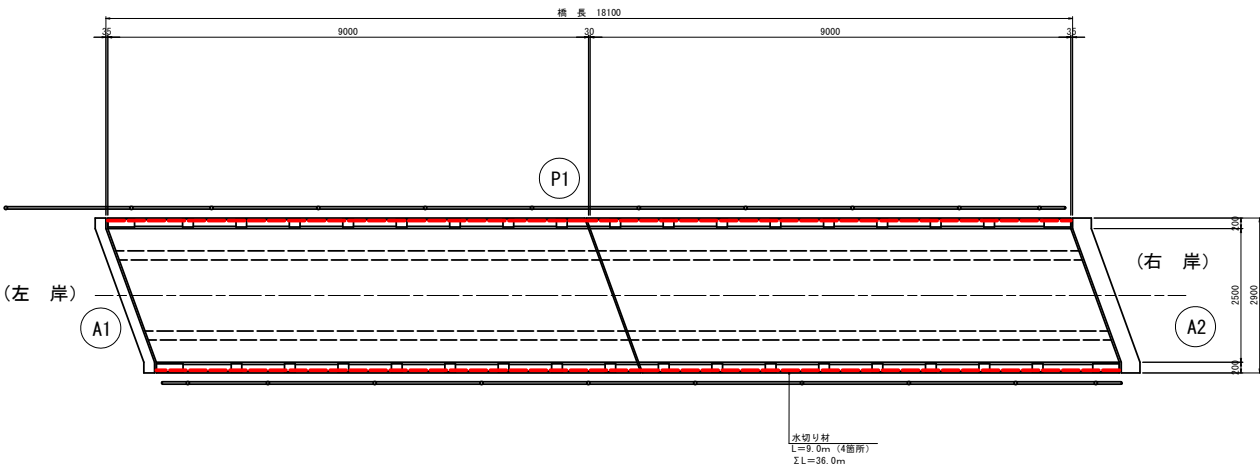
図面番号	13/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	上フランジ充填補修図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

山崎橋 水切り補修図

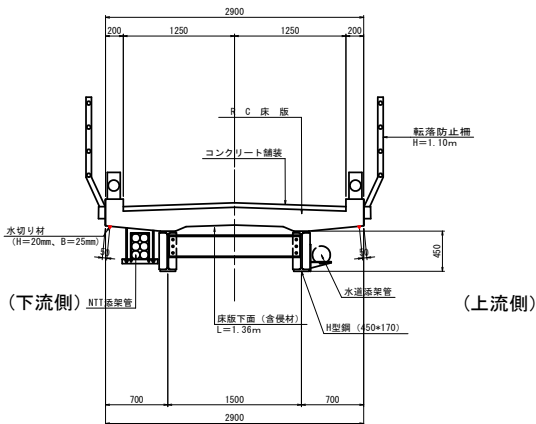
側面図 S=1:50



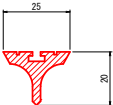
平面図 S=1:50



中間断面図 S=1:30



水切り断面図

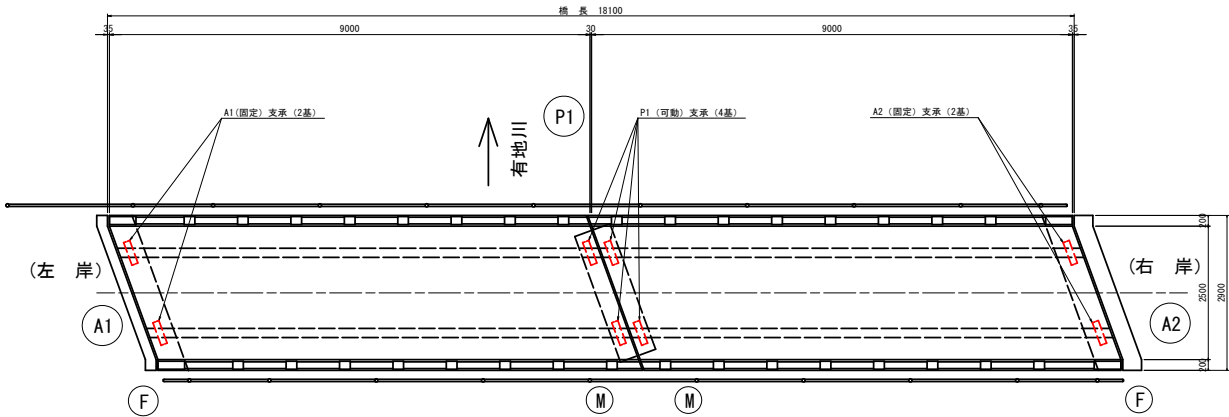


令和8年度
国
補

図面番号	14/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	水切り補修図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

山崎橋 支承取替え補修図

平面図 S=1:50

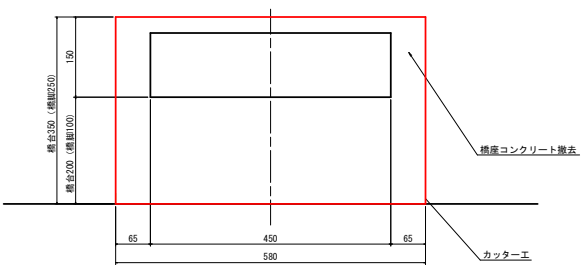


橋座箱抜き構造図

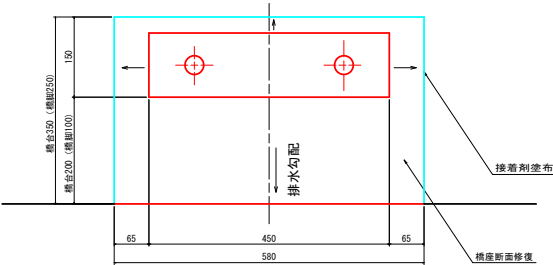
S=1:5

既設 平面図

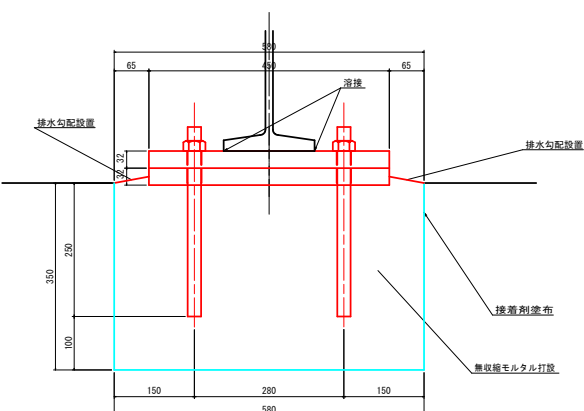
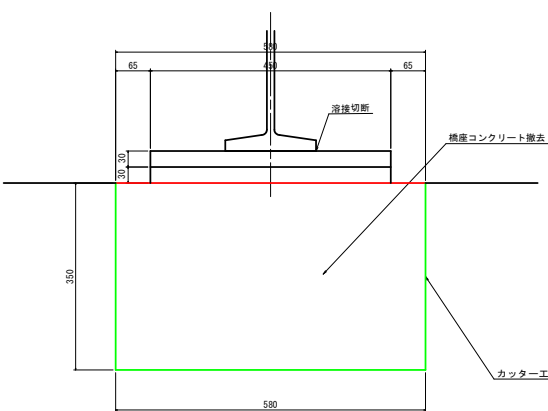
支承取替え平面図



既設 正面図

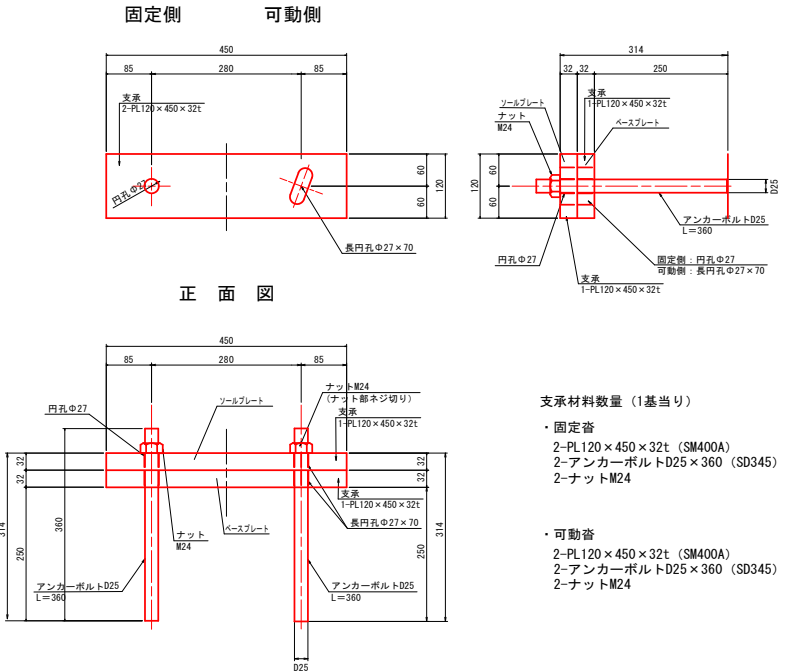


支承取替え正面図



新規支承構造図

平面図 側面図 S=1:5



- 支承材料数量 (1基当り)
- ・固定資
2-PL120×450×32t (SM400A)
2-アンカーボルトD25×360 (SD345)
2-ナットM24
 - ・可動資
2-PL120×450×32t (SM400A)
2-アンカーボルトD25×360 (SD345)
2-ナットM24

令和8年度
国
補

図面番号	15/15	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	支取取替欠補修図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市戸田町地内		
福 山 市			

参 考 图 书

施工単価表

頁0 -0017

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

単第0 -0001 表

1

m2 当り

機械構成比: 21.58% 労務構成比: 71.86% 材料構成比: 6.56% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0018

不陸整正
補足材料無し

SPK25040234

單第0 -0001 表

1

m2 当り

機械構成比:	21.58%	労務構成比:	71.86%	材料構成比:	6.56%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	174.53000
--------	--------	--------	--------	--------	-------	----------	-------	-------	-----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040244

単第0 -0002 表

1層当り平均仕上厚50mm

1 m2 当り
標準単価： 1,912.70000

機械構成比： 1.62% 労務構成比： 14.97% 材料構成比： 83.41% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0020

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下
機械構成比: 1.62%

SPK25040244
1層当り平均仕上厚50mm
労務構成比: 14.97%

材料構成比: 83.41%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0002 表

1
標準単価:

m2 当り
1,912.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	76.32%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.28%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

薄層表面処理

V0001

単第0 -0003 表

頁0 -0021

45

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.00	人			
特殊作業員	2.00	人			
普通作業員	3.00	人			
プライマー	1.00	セット			
珪砂 5号	21.40	kg			
薄層表面処理材	4.00	セット			
端部保護材	2.00	袋			
諸雑費	7	%			#09
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	25.00	L			
トラック 普通型 2t積級	1.13	供用日			
*** 合計 ***	45	m2			

施工単価表

頁0 -0022

薄層表面處理

V0001

單第0 -0003 表

45

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

上フランジ充填

V0002

單第0 -0004 表

1 橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

シール材

SPK25040120

單第0 -0005 表

1 m 当り

機械構成比:	0.00%	労務構成比:	100.00%	材料構成比:	0.00%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	2,423.50000
--------	-------	--------	---------	--------	-------	----------	-------	-------	-------------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

止水材設置

V0003

單第0 -0006 表

1 橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

橋梁用水切り材設置

V0004

單第0 -0007 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

地覆高欄補修

V0005

單第0 -0008 表

1 橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0009 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0010 表

1
標準単価: 10,100.00000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0030

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

單第0 -0011 表

人力施工

m3 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

横断・転落防止柵 アンカーボルト固定

SS000147

單第0 -0012 表

材料別途

[規]100m未滿

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

横断・転落防止柵 防護柵撤去
アンカーボルト固定

SS000153

單第0 -0013 表

ビーム式・パネル式

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

支承取替(鋼橋)

V0006

單第0 -0014 表

8 基 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

支取替(鋼橋)

SPK25040338

単第0 -0015 表

1

基 当り

支形式I

下部工ブラケット取付無し

標準単価： 681,320.00000

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 100.00%

材料構成比： 0.00%

市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
橋りょう特殊工	38.65%		橋りょう特殊工		RTPC00020 RTPT00020
特殊作業員	15.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
橋りょう世話役	15.25%		橋りょう世話役		RTPC00021 RTPT00021
普通作業員	9.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 支形式I			C=1 下部工ブラケット取付無し		

施工単価表

当て板補修

V0007

単第0 -0016 表

1 橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
芯出し調整工(鋼材面用)	0.29	m2			単第0-0017 表
極小規模補修工事ガス切断切削仕上工	1.35	m			単第0-0018 表
極小規模補修工事ガス切断切削仕上工	0.51	m			単第0-0019 表
極小規模鋼桁孔明工	20.00	本			単第0-0020 表
補強部材取付工	1.00	部材			単第0-0021 表
補強部材取付工	5.00	部材			単第0-0022 表
不陸修正工	0.59	m2			単第0-0023 表
極小規模高力ボルト本締工	30.00	本			単第0-0024 表
ピンテール仕上げ工	30.00	本			単第0-0025 表
切板 SM400A 加工品 G1-Aブロック	1.00	個			
切板 SM400A 加工品 G1-Bブロック	2.00	個			
切板 SM400A 加工品 G2-Aブロック	1.00	個			

施工単価表

頁0 -0036

当て板補修

V0007

單第0 -0016 表

橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

芯出し調整工(鋼材面用)

V0008

單第0 -0017 表

10

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

極小規模補修工事ガス切断切削仕上工

V0009

單第0 -0018 表

1.35 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

極小規模補修工事ガス切断切削仕上工

V00010

單第0 -0019 表

0.51 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

極小規模鋼桁孔明工

V00011

單第0 -0020 表

20

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

補強部材取付工

V00012

單第0 -0021 表

16

部材 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

補強部材取付工

V00013

單第0 -0022 表

12

部材 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

不陸修正工

V00014

單第0 -0023 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

極小規模高力ボルト本締工

V00015

單第0 -0024 表

30

本 当り

[illegible]

施工単価表

ピンテール仕上げ工

V00016

單第0 -0025 表

頁0 -0045

本 当り

[illegible]

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0026 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材 エポキシ樹脂注入材2種	0.033	kg			
シール材	0.063	kg			
低圧注入器具	2.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=19 【F】注入材(kg) C=20 【F】シール材(kg) E=21 【F】低圧注入器具(個)			B=0.033 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.046 シール材の設計数量(kg/構造物) F=2 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		

施工単価表

頁0 -0047

断面修復工(左官工法)
 (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020039
 修復延べ体積0.1m3未満の場合

単第0 -0027 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.800	人			
特殊作業員	5.300	人			
普通作業員	2.800	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り)	0.065	m3			
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=22 【F】断面修復材(m3)			B=0.055 断面修復材の設計数量(m3/構造物)		

施工単価表

頁0 -0048

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020043

單第0 -0028 表

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.400	人			
特殊作業員	4.500	人			
普通作業員	2.300	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用（コテ塗り）	0.057	m3			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=22 【F】断面修復材(m3)			B=0.048	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	

施工単価表

頁0 -0049

コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)

S1020051

單第0 -0029 表

[無]DID区間

運搬距離 3.0km以下(2.0km超)

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

S9050

単第0 -0030 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.20	L			
運転手(一般)	0.89	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.02	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.02	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=19.2 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率		B=0.89 D=1.02 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	

施工単価表

頁0 -0051

含浸材塗布

V00017

單第0 -0031 表

m2

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

素地調整

V00018

単第0 -0032 表

1種ケレン（循環式ブラスト法）

1000

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	14.70	人			
橋りょう塗装工	117.60	人			
循環式ブラストマシン 2ノズルタイプ	14.70	日 / 台			
ブラストノズル・ホース賃料	14.70	日 / 台			
循環式ブラストマシン整備料 鉛特別整備費	14.70	日 / 台			
空気圧縮機損料 可搬式・スクリュウエンジン・19.4m3/min (	14.70	日 / 台			
発動発電機損料 ディーゼルエンジン駆動・定格容量100/125k	14.70	日 / 台			
トラック 4t車 車載式	29.40	日 / 台			
研削材賃料 スチールグリッド	1,000.00	m2			
燃料費 軽油	14.70	日			
諸雑費	5	%			#09
施工規模補正・時間的制約補正		式			

施工単価表

頁0 -0053

素地調整

V00018

單第0 -0032 表

1種ケレン（循環式ブラスト法）

1000

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

研削材及びケレンかす回収・積込工

V00019

單第0 -0033 表

研削材:グリット

場内集積・選別・積込

1000

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0034 表

1 m2 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0056

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0035 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0036 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

單第0 -0037 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0059

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 15.05% 労務構成比: 58.43% 材料構成比: 26.52% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040307
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0038 表
1 m 当り
標準単価: 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0060

鋪裝版切斷

SPK25040307

單第0 -0038 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0061

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 12.85% 労務構成比: 81.24% 材料構成比: 5.91% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 217.37000

SPK25040306 障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0039 表 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0062

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

単第0 -0040 表
1
標準単価: 1,105.90000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

施工単価表

頁0 -0063

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.05%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離3.5km以下(1.5km超)
労務構成比: 39.87%

単第0 -0041 表
材料構成比: 16.08%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 2,385.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=15 運搬距離3.5km以下(1.5km超)		

施工単価表

頁0 -0064

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)

単第0 -0042 表
標準単価: 1 t 当り
6,378.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=11 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し
クレーン装置付BT2t積2.9t吊

SPK25040412

単第0 -0043 表

1
t 当り
標準単価： 9,566.60000

機械構成比： 13.73% 労務構成比： 83.47% 材料構成比： 2.80% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.73%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	41.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2.9t吊					

施工単価表

頁0 -0066

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)

単第0 -0044 表
1
標準単価: 15,227.00000
t 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=19 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

特別管理産業廃棄物受入費

V00020

单第0 -0045 表

頁0 -0067

式 当り

[illegible]

施工単価表

工事用道路

V00021

単第0 -0046 表

頁0 -0068

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	289.14	m3			単第0-0047 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離2.5km以下(2.0km超)	321.27	m3			単第0-0048 表
購入土砂(ほぐし) 処理土	385.52	m3			
大型土のう製作・設置(BH設置)	97.00	袋			単第0-0049 表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	289.14	m3			単第0-0051 表
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ -3m H 2m	97.00	袋			単第0-0052 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	369.97	m3			単第0-0054 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)	0.20	t			単第0-0042 表
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A,B,C(支柱間隔2m)	16.00	m			単第0-0055 表
防護柵設置工(Gr) コンクリート建込 - 塗装品_Gr-C-2B [規]21m未満	16.00	m			単第0-0056 表
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0069

路体(築堤)盛土

施工幅員4.0m以上

機械構成比: 17.31%

労務構成比:

SPK25040004

施工数量20,000m3未満 障害無し

67.71%

材料構成比: 14.98%

単第0 -0047 表

1
標準単価:

m3 当り

240.29000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	10.87%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.44%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.57%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.98%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0070

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

SPK25040002

DID区間無し 距離2.5km以下(2.0km超)

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0048 表

1

m3

標準単価: 583.53000

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=8 距離2.5km以下(2.0km超)			B=2 バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0049 表

頁0 -0071

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			1*0.294
特殊作業員	0.294	人			1*0.294
普通作業員	0.294	人			1*0.294
1t土のう 丸型, 径110cm × 長108cm	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	日			単第0-0050 表
諸雑費	1	%			#09
* * * 合計 * * *	10	袋			
* * * 単位当たり * * *	1	袋			
A=1 1t土のう(丸型, 径110cm × 長108cm)					

施工単価表

頁0 -0072

機-28_バックホウ運転(賃料)
C付2.9t吊 山積0.45m3 後方超小型旋回型

S9035

單第0 -0050 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比: 42.72% 労務構成比: 37.91% 材料構成比: 19.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 331.59000

SPK25040001 障害無し 5,000m3未満

単第0 -0051 表 1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	42.72%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	37.91%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.37%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0075

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0053 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0076

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,050.30000

SPK25040002

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

単第0 -0054 表

1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=16 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0077

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去
コンクリート建込

SS000127

單第0 -0055 表

1 m 当日

A, B, C (支柱間隔2m)

[illegible]

施工単価表

頁0 -0078

防護柵設置工(Gr) コンクリート建込

SS000123

單第0 -0056 表

- 塗装品 Gr-C-2B

[規]21m未滿

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0079

仮設材処分費
工事用道路

V00022

單第0 -0057 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0080

仮支点

V00023

單第0 -0058 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0081

仮支点基礎

V00024

單第0 -0059 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0082

敷鉄板賃料

S1050029

單第0 -0060 表

$$\underline{22 \times 1524 \times 3048, 802 \text{kg/枚}}$$

貸貸期間7日

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0083

敷鉄板設置

S1050041

單第0 -0061 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0084

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0062 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0085

敷鉄板撤去

S1050043

單第0 -0063 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0086

サンドルによる降下設備組立・解体

V00025

單第0 -0064 表

1.426 t 当り

[illegible]

施工単価表

仮支点補剛材

V00026

単第0 -0065 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
芯出し調整工(鋼材面用)	0.27	m2			単第0-0017 表
極小規模鋼桁孔明工	24.00	本			単第0-0066 表
補強部材取付工	8.00	部材			単第0-0021 表
極小規模高力ボルト本締工	24.00	本			単第0-0067 表
ピンテール仕上げ工	24.00	本			単第0-0025 表
補剛材 SS400 L90×90×10	16.00	個			
高力トルシアボルトS10T M20×80 単位質量419g/組	24.00	組			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0088

極小規模鋼桁孔明工

V00027

單第0 -0066 表

24

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0089

極小規模高力ボルト本締工

V00028

單第0 -0067 表

24

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0090

仮排水管

V00029

單第0 -0068 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0091

暗渠排水管

SPK25040093

単第0 -0069 表

据付・撤去 波状管 700～1,000mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径900mm

1 m 当り

機械構成比: 1.61% 労務構成比:

6.49%

材料構成比: 91.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

39,365.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t	1.61%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t		MTPC00175 MTPT00175
普通作業員	4.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	1.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	0.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.35%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <シングル構造>内面波状管(有孔・無孔) 呼び径900mm	91.45%		暗渠排水管 波状管 高密度ポリエチレン管(シングル構造) 呼び径800mm		TTPCD0629 TTPT00398
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.45%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=4 700～1,000mm F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=3 波状管 D=49 シングル 合成樹脂排水材 呼び径900mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0092

暗渠排水管

SPK25040093

單第0 -0069 表

据付・撤去 波状管 700~1,000mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径900mm

1 m 当り

機械構成比: 1.61% **勞務構成比:**

6.49%

材料構成比: 91.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

39,365.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0093

施工ヤード

V00030

単第0 -0070 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	52.66	m3			単第0-0051 表
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	163.92	m3			単第0-0047 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離2.5km以下(2.0km超)	129.48	m3			単第0-0048 表
購入土砂(ほぐし) 処理土	155.38	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	237.76	m3			単第0-0047 表
再生クラッシャラン 40～0mm	237.76	m3			
大型土のう製作・設置(BH設置)	12.00	袋			単第0-0049 表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	401.48	m3			単第0-0051 表
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m H 2m	12.00	袋			単第0-0052 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	411.68	m3			単第0-0054 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)	0.03	t			単第0-0042 表
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0094

仮設材処分費
施工ヤード

V00031

單第0 -0071 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0095

仮囲い

V00032

單第0 -0072 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0097

ブラスト用養生シート

V00033

單第0 -0074 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

環境対策資機材

V00034

単第0 -0075 表

頁0 -0098

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉛対応集塵装置賃料 160m3/min	0.50	台・月			
鉛対応集塵機用 カートリッジフィルター、パッキン	16.00	本			
エアーシャワー賃料	0.50	台・日			
エアシャワー用 1次フィルター	1.00	枚			
エアシャワー用 HEPAフィルター	1.00	枚			
クリーンルーム 簡易セキュリティールーム	1.00	箇所			
真空掃除機賃料	0.50	月			
真空掃除機用 1次フィルター	1.00	枚			
掃除機用 2次フィルター	1.00	枚			
掃除機用 HEPAフィルター	1.00	個			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

安全衛生保護具

V00035

單第0 -0076 表

頁0 -0099

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0100

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 7.5km	製品長 12m以内

單第0 -0077 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0101

基本運賃

運搬距離 7.5km

S1000009

製品長 12m以内 運搬質量 12.009t

單第0 -0078 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0102

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0079 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0103

呼吸器用保護具

V00036

單第0 -0080 表

式 当り

[illegible]

本 工 事 総 括 表								
レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
橋梁修繕工事（山崎橋）								
	舗装工							
		舗装打換え工						
			不陸整正	不陸整正 補足材料無し	m2	1.4	1	補修数量計算(7)
			表層	表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	m2	1.4	1	補修数量計算(7)
		薄層表面処理工						
			薄層表面処理工	薄層表面処理	m2	45.0	45	補修数量計算(5)
	橋梁床版工							
		上フランジ充填工						
			上フランジ充填工	上フランジ充填	橋	1.0	1	補修数量計算(11)
	橋梁付属物工							
		止水材設置工						
			止水材設置工	止水材設置	橋	1.0	1	補修数量計算(6)
		橋梁用水切り材設置工						
			橋梁用水切り材設置工	橋梁用水切り材設置	m	36.0	36	補修数量計算(12)
	橋梁補修工							
		地覆高欄補修工						
			地覆高欄補修工	地覆高欄補修	橋	1.0	1	補修数量計算(3)
		支承取替工						
			支承取替	支承取替(鋼橋)	基	8.0	8	補修数量計算(13)
		当て板補修工						
			当て板補修工	当て板補修	橋	1.0	1	補修数量計算(10)
		ひび割れ補修工						
			低圧注入工法	ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	構造物	1.0	1	補修数量計算(2)
		断面修復工						
			左官工法	断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	構造物	1.0	1	補修数量計算(1)
				断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	構造物	1.0	1	補修数量計算(1)
				コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) [無]DID区間	m3	0.10	0.1	補修数量計算(1) 0.048+0.055
		表面含侵工						
			下地処理	下地処理	m2	100.3	100	補修数量計算(4)
			含浸材塗布	含浸材塗布	m2	100.3	100	補修数量計算(4)
	現場塗装工							
		橋梁塗装工						
			素地調整	素地調整 1種ケレン(循環式プラスト法)	m2	59.1	59	補修数量計算(9)
				研削材及びケレンかす回収・積込工 研削材:グリット 場内集積・選別・積込	m2	59.1	59	補修数量計算(9)
		防食下地	塗替塗装	下塗り塗装	m2	59.1	59	補修数量計算(9)
		下塗	塗替塗装	下塗り塗装	m2	59.1	59	補修数量計算(9)
		中塗	塗替塗装	中塗り塗装	m2	59.1	59	補修数量計算(9)
		上塗	塗替塗装	上塗り塗装	m2	59.1	59	補修数量計算(9)
	構造物撤去工							
		構造物取壊し工						
		舗装版切断	舗装版切断	舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	2.7	3	補修数量計算(8)
		舗装版破砕	舗装版破砕	舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	m2	3.5	4	補修数量計算(8)
		運搬処理工						
			殻運搬	殻運搬 Co(無筋)構造物とこわし DID区間無し	m3	0.70	0.7	補修数量計算(3)(13) 0.21+0.49
				殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し	m3	0.12	0.1	補修数量計算(8)
			殻処分	コンクリート塊受入費 再生工場搬入	t	1.9	2	(0.70+0.10) × 2.35
				アスファルト殻受入費 再生工場搬入	t	0.28	0.3	0.12 × 2.35
			現場発生品運搬	現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊	t	0.250	0.25	補修数量計算(10)(13) (47.1+203) ÷ 1000
				現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊	t	0.250	0.25	補修数量計算(10)(13) (47.1+203) ÷ 1000
				鉄屑(ヘビー型) 厚さ3mm以上6mm未満、幅員500mm以下 長さ1,200mm以下、質量1,000kg以下	t	0.250	0.25	補修数量計算(10)(13) (47.1+203) ÷ 1000
			現場発生品運搬	現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊	t	0.177	0.18	
				特別管理産業廃棄物受入費	式	1.0	1	

本 工 事 総 括 表	
-------------	--

[illegible]

補修数量計算

(1) 断面修復工（左官工法：ポリマーセメントモルタル）

上部工

損 傷	単位	1径間	2径間	合計
剥離 d=5cm	m2		0.36	0.36
	m3		0.018	0.018
鉄筋露出 d=5cm	m2	0.89	0.08	0.97
	m3	0.045	0.004	0.049

下部工

損 傷	単位	A1	A2	合計
欠損 d=5cm	m2	0.15	0.14	0.29
	m3	0.008	0.007	0.015
損 傷	単位	P1		合計
欠損（砂すじ） d=3cm	m2	0.34		0.34
	m3	0.010		0.010

高欄・路面

損 傷	単位	1径間	2径間	合計
欠損 d=5cm	m2	0.04	0.06	0.10
	m3	0.002	0.003	0.005
鉄筋露出 d=5cm	m2	0.01	0.10	0.11
	m3	0.001	0.005	0.006

(2) ひび割れ補修工（低圧注入工法：エポキシ樹脂2種）

①延べ施工量

上部工：高欄

工 法	単位	1径間	2径間	合計
注入工法0.2mm～1.0mm	m	0.300		0.300

②シーリング材

幅： 30 mm

厚さ： 3 mm

比重： 1.7

$$\text{材料数量 } W = 0.300 \times 0.030 \times 0.003 \times 1700 = \underline{0.046 \text{ kg}}$$

$$0.046 \times 1.37 = \underline{0.063 \text{ kg}}$$

ロス率

エポキシ樹脂系2種

平均幅：0.6mm ← (0.2+1.0) × 1/2

注入深さ：120mm ← (想定)

比重： 1.1

$$\text{材料数量 } W = 0.30 \times 0.0006 \times 0.12 \times 1100 \times 1.40 = \underline{0.033 \text{ kg}}$$

ロス率

④注入器具

設置間隔：250mm

$$\text{個数 } N = 0.30 \div 0.25 = \underline{2 \text{ 個}}$$

(3) 地覆高欄補修工（張出床版・親柱）

上部工

工 法	単位	1径間	2径間	合計
コンクリート $\sigma = 24 \text{ kN/m}^2$	m3	0.11	0.11	0.22
コンクリート 取り壊し	m3	0.11	0.11	0.22
型 枠	m2	1.05	1.05	2.10
妻型枠 t=35mm	m2	0.07	0.07	0.14
転落防止柵 撤去・再設置	m	3.85	1.97	5.82

(4) 表面含侵工（けい酸塩系ナトリウム含浸材）

上部工

工 法	単位	全橋	合計
表面含侵	m2	100.34	100.34

(5) 薄層表面処理工

上部工：橋面

工 法	単位	1径間	2径間	合計
薄層表面処理	m2	22.50	22.50	45.00

(6) 止水材設置工

上部工：遊間・地覆

工 法	単位	A1橋台部	P1橋脚部	A2橋台部	合計
設置延長	m	3.49	3.86	3.49	10.84

【シール材（ポリブタジエン系）】

$$V = (0.035 \times 0.035 \times 3.49 \times 2 + 0.030 \times 0.030 \times 3.86 \times 1) \times 1000 = 12.02 \text{ } \ell$$

【シール材（バックアップ材）】

$$V = (0.035 \times 0.035 \times 3.49 \times 2 + 0.030 \times 0.030 \times 3.86 \times 1) \times 1000 = 12.02 \text{ } \ell$$

(7) 舗装工（アスファルト舗装：t=50mm）

上部工：不陸整正、アスファルト舗装

工 法	単位	A1	A2	合計
不陸整正 アスファルト舗装	m2	0.50	0.88	1.38

(8) 舗装撤去 (アスファルト舗装)

上部工：舗装破碎

工 法	単位	1径間	2径間	合計
アスファルト舗装 t=0~50mm (平均t=25mm)	m2		2.13	2.13
アスファルト舗装 t=50mm	m2	0.50		0.50
アスファルト舗装 t=50mm	m2		0.88	0.88

$$V = 2.13 \times 0.025 + 0.50 \times 0.05 + 0.88 \times 0.05 = 0.12 \text{ m}^3$$

$$W = 0.12 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.28 \text{ t}$$

カッター工

$$L = 2.66 \text{ m}$$

(9) 塗替塗装

・ 塗装面積 (塗り替え塗装 (Rc-I))

素地調整：1種ケレン (循環式ブラスト法)

$$\text{主桁：} A1 = (0.45 \times 2 + 0.17 + 0.078 \times 4) \times 9.00 \times 2 = 24.876 \text{ m}^2$$

$$\text{横桁：} 3 - [250 \times 90 \times 9 \times 13]$$

$$A2 = \frac{34.6 \text{ kg/m}}{\text{デザインデータブックより}} \times 1.47 \times 3 \times \frac{0.0235 \text{ m}^2/\text{kg}}{\text{デザインデータブックより}} = 3.586 \text{ m}^2$$

$$\text{HTB：} A3 = \frac{0.00529 \text{ m}^2/\text{本}}{\text{デザインデータブックより}} \times 6 \times 3 = 0.095 \text{ m}^2$$

(M20)

$$\text{補剛材 } 12\text{-L } 90 \times 90 \times 10 \times 10$$

$$A4 = \frac{13.3 \text{ kg/m}}{\text{デザインデータブックより}} \times 0.39 \times 4 \times 3 \times \frac{0.0262 \text{ m}^2/\text{kg}}{\text{デザインデータブックより}} = 1.631 \text{ m}^2$$

控除：

$$\text{主桁と補剛材 } A6 = -0.09 \times 0.39 \times 2 \times 4 \times 3 = -0.842 \text{ m}^2$$

$$\text{横桁と補剛材 } A7 = -0.25 \times 0.082 \times 2 \times 2 \times 3 = -0.246 \text{ m}^2$$

(1径間分)	29.100	m2
(2径間分)	58.200	m2

鋼製支承 (2-120*450*30) (全8-支承)

$$A = (0.12 \times 0.45) \times 1 - 0.12 \times 0.17 + (0.12 + 0.45) \times 2 \times 0.032 \times 2 = 0.107 \text{ m}^2$$

$$(1 \text{ 箇所当}) \quad 0.107 \text{ m}^2$$

$$(8 \text{ 箇所当}) \quad 0.856 \text{ m}^2$$

$$\text{塗装面積合計 } \Sigma A = 58.200 + 0.856 = 59.056 \text{ m}^2$$

(本体+支承)

(10) 当て板補修工

(1) 極小規模ガス切断切削仕上げ (t=14mm、ウェブ)

$$\begin{array}{lcl} \text{G1 : } L = & 0.5 + 0.105 \times 2 & = 0.71 \text{ m} \\ \text{G2 : } L = & 0.53 + 0.105 & = 0.635 \text{ m} \\ \text{合計} & & = 1.35 \text{ m} \end{array}$$

(2) 極小規模ガス切断切削仕上げ (t=20~30mm、下フランジ)

$$\begin{array}{lcl} \text{G1 : } L = & 0.17 \times 2 & = 0.34 \text{ m} \\ \text{G2 : } L = & 0.17 & = 0.17 \text{ m} \\ \text{合計} & & = 0.51 \text{ m} \end{array}$$

(3) 鋼材重量 (SM400A)

$$\begin{array}{lcl} t=19: \text{G1-A} = \text{PL} & 0.17 \times 0.019 \times 0.50 \times 7850 \text{ kg/m}^3 & = 12.68 \text{ kg} \\ t=16: \text{G1-A} = \text{PL} & 0.106 \times 0.016 \times 0.50 \times 7850 \text{ kg/m}^3 & = 6.66 \text{ kg} \\ t=19: \text{G1-B} = \text{PL} & 0.077 \times 0.019 \times 0.50 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 & = 11.48 \text{ kg} \\ t=16: \text{G1-B} = \text{PL} & 0.37 \times 0.016 \times 0.50 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 & = 46.47 \text{ kg} \\ t=19: \text{G2-A} = \text{PL} & 0.17 \times 0.019 \times 0.53 \times 7850 \text{ kg/m}^3 & = 13.44 \text{ kg} \\ t=16: \text{G2-A} = \text{PL} & 0.106 \times 0.016 \times 0.53 \times 7850 \text{ kg/m}^3 & = 7.06 \text{ kg} \\ t=19: \text{G2-B} = \text{PL} & 0.077 \times 0.019 \times 0.53 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 & = 12.17 \text{ kg} \\ t=16: \text{G2-B} = \text{PL} & 0.37 \times 0.016 \times 0.53 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 & = 49.26 \text{ kg} \\ t=9: \text{G2-B} = \text{PL} & 0.061 \times 0.009 \times 0.37 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 & = 3.19 \text{ kg} \\ \text{合計} & & = 162.41 \text{ kg} \end{array}$$

G1-Aブロック重量と個数:	1個 (19.34 kg/個)	t=9 :	3.19 kg
G1-Bブロック重量と個数:	2個 (28.975 kg/個)	t=16 :	109.45 kg
G2-Aブロック重量と個数:	1個 (20.50 kg/個)	t=19 :	49.77 kg
G2-Bブロック重量と個数:	2個 (32.31 kg/個)		

(4) トルシアボルト M20*80 (S10T)

$$G1-A \text{ブロック} : N = 15 \text{ 本} \quad (W = 0.568 \text{ kg/個} \times 15 = 8.52 \text{ kg})$$

$$G2-A \text{ブロック} : \frac{N = 15 \text{ 本}}{\text{合計} \quad 30 \text{ 本}} \quad (W = 0.568 \text{ kg/個} \times \frac{15}{\text{合計}} = \frac{8.52 \text{ kg}}{= 17.04 \text{ kg}})$$

(5) 芯出し調整工 (鋼材面用)

$$G1-A \text{ブロック} : A = 0.283 \times 0.50 = 0.14 \text{ m}^2$$

$$G2-A \text{ブロック} : A = 0.283 \times 0.53 = 0.15 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} \quad 0.29 \text{ m}^2$$

(6) 極小規模鋼桁孔明工 $\Phi 22.5$ 、 $t=14\text{mm}$ (現場)

$$N = 10 + 10 = 20 \text{ 孔}$$

(7) グループ溶接工 (すみ肉6mm換算長さ) (工場加工)

$$G1-A \text{ブロック レ形T継手溶接} (t=16\text{mm}) \quad L = 0.50 \times 7.1 \times 2 = 3.55 \text{ m}$$

$$G1-B \text{ブロック レ形かど継手溶接} (t=16\text{mm}) \quad L = 0.50 \times 7.1 \times 2 = 7.10 \text{ m}$$

$$G2-A \text{ブロック レ形T継手溶接} (t=16\text{mm}) \quad L = 0.53 \times 7.1 \times 2 = 3.76 \text{ m}$$

$$G1-B \text{ブロック レ形かど継手溶接} (t=16\text{mm}) \quad L = 0.53 \times 7.1 \times 2 = 7.53 \text{ m}$$

$$G2-B \text{ブロック すみ肉溶接6mm} (t=9\text{mm}) \quad L = 0.37 \times 1.0 \times 2 = \frac{0.74 \text{ m}}{\text{合計} = 22.68 \text{ m}}$$

(8) 金属パテ補修

金属パテ $t=1\text{mm}$ 厚

$$A = 0.500 \times 0.284 \times 2 + 0.53 \times 0.284 \times 2 = \underline{0.59 \text{ m}^2}$$

(9) 主桁切断後のスクラップ

G1 : $\square 105 \times 500 \times 14$: 1枚

$\square 78 \times 500 \times 25$: 2枚

G2 : $\square 105 \times 530 \times 14$: 1枚

$\square 78 \times 530 \times 25$: 2枚

$$V = \frac{0.105 \times 0.50 \times 0.014 + 0.078 \times 0.50 \times 0.025}{0.105 \times 0.53 \times 0.014 + 0.078 \times 0.53 \times 0.025} \times 2 + 2 = 0.006 \text{ m}^3$$

$$W = 0.006 \times 7850 \text{ kg/m}^3 = \underline{47.10 \text{ kg}}$$

(10) 極小規模高力ボルト本締工

$$N = 15 + 15 = \underline{30 \text{ 本}}$$

(11) ピンテール仕上げ工

$$N = 15 + 15 = \underline{30 \text{ 本}}$$

(11) 上フランジ充填工

工 法	単位	1径間	2径間	合計
上フランジ充填工 t =0~20mm	m ²	16.30	16.30	32.60

【シール材（エポキシ樹脂系）】

$$V = \frac{8.15}{(1箇所)} \times \frac{0.00009}{(想定)} \times 4.00 \times 1000 = 2.93 \text{ ㍔}$$

工 法	単位	1径間	2径間	合計
シール材 t =15mm	m	16.30	16.30	32.60

【シール材（バックアップ材）】

$$V = (0.015 \times 0.015 \times 8.15 \times 2 + 0.015 \times 0.015 \times 8.15 \times 2) \times 1000 = 7.34 \text{ ㍔}$$

(12) 橋梁用水切り材設置工（W=25mm、H=20mm）

工 法	単位	1径間	2径間	合計
水切り工	m	18.00	18.00	36.00

(13) 支承取替工

(1) 支承工（全8基）製作

N= 8 基

支承材料数量（1基当り）

・ 固定沓

2-PL120×450×32t（SM400A）
2-アンカーボルトD25×360（SD345）
2-ナットM24

・ 可動沓

2-PL120×450×32t（SM400A）
2-アンカーボルトD25×360（SD345）
2-ナットM24

$$\begin{array}{lcl} \text{支承プレート (PL120×L450×T32)} & W= & 0.120 \times 0.450 \times 0.032 \\ & \times & 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 \times 8 = 217 \text{ kg} \end{array}$$

(2) 既設支承スクラップ（1基当り：全8基）

$$\begin{array}{lcl} \text{支承プレート (PL120×L450×T30)} & W= & 0.120 \times 0.450 \times 0.030 \\ & \times & 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 \times 8 = 203 \text{ kg} \end{array}$$

(3) コンクリートカッター工（全8基）

$$\begin{array}{lcl} \text{カッター工 (t=5cm)} & L= & ((0.35 + 0.58 + 0.35) \\ & \times & 2) \times 4 \\ & & = 10.24 \text{ m} \end{array}$$

(4) 既設コンクリート取壊し・運搬・処分

鉄筋コンクリート、人力

$$\begin{array}{lcl} V1 = & (0.35 \times 0.58 \times 0.35) \times 4 \\ & + (0.25 \times 0.58 \times 0.35) \times 4 & = 0.49 \text{ m}^3 \end{array}$$

(5) 無収縮モルタル打設

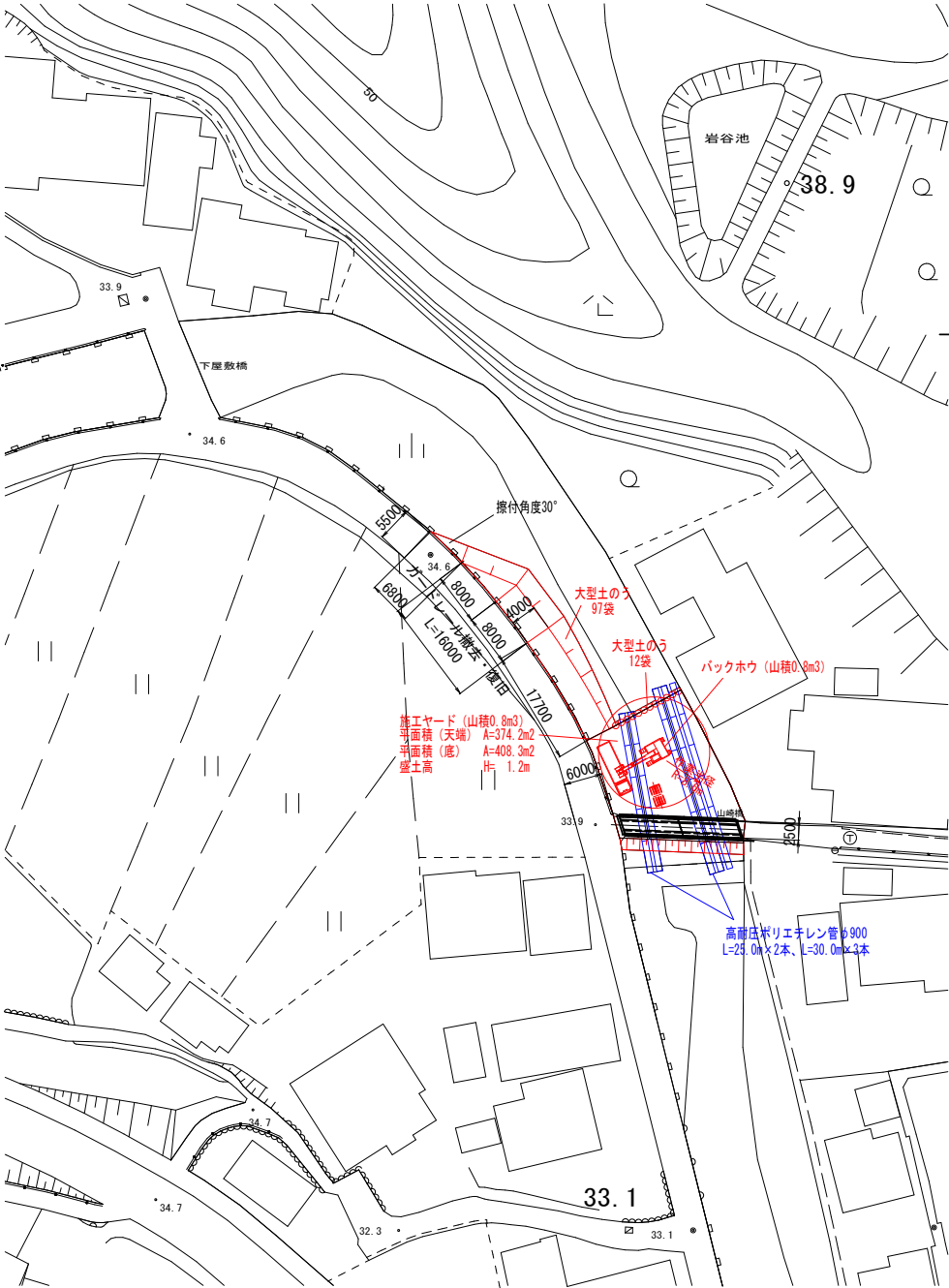
$$\begin{array}{lcl} V = & (0.35 \times 0.58 \times 0.35) \times 4 \\ & + (0.25 \times 0.58 \times 0.35) \times 4 & = 0.49 \text{ m}^3 \end{array}$$

(6) 無収縮モルタル型枠

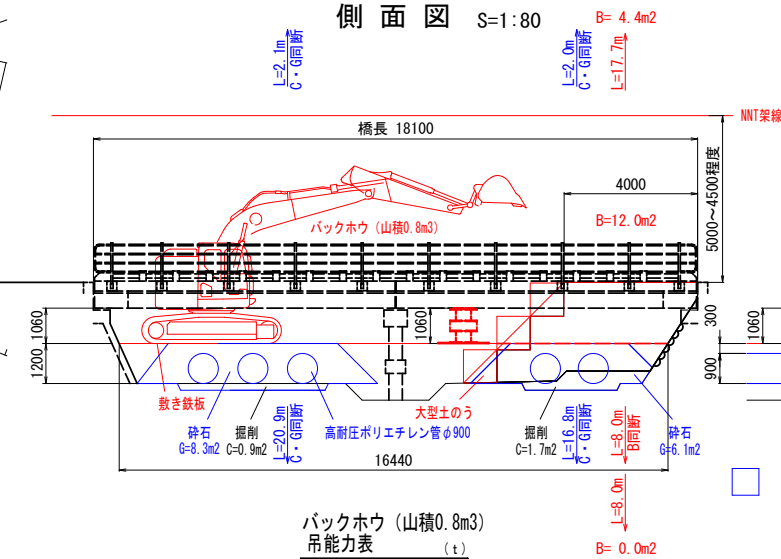
$$\begin{array}{lcl} V = & (0.35 \times 0.58) \times 8 & = 1.62 \text{ m}^2 \end{array}$$

参考図

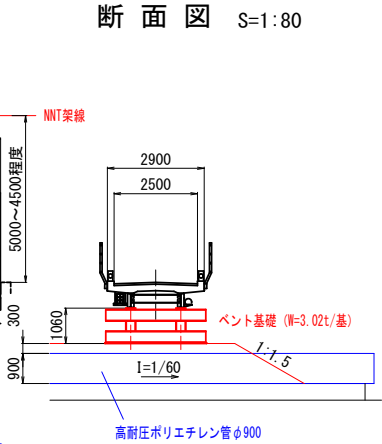
平面図 S=1:400



側面図 S=1:80



断面図 S=1:80



バックホウ (山積0.8m3)
吊能力表 (t)

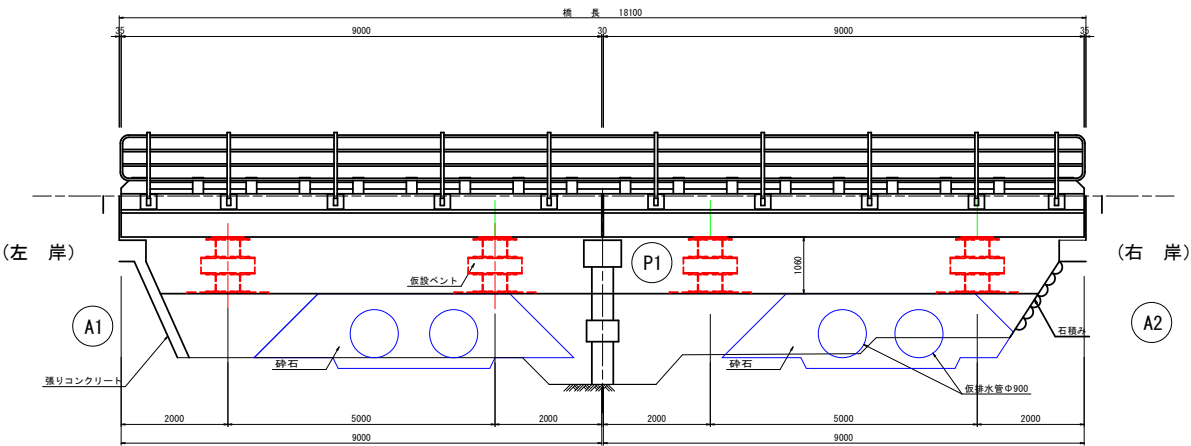
作業半径	定常吊り
6.0m	2.90
7.0m	2.30
8.0m	1.80
8.6m	1.70

鋼材最大重量:0.41t/基
排水管重量 :0.27t/本

図面番号	1/3	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	仮設図	番 号	1 / 3
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市戸田町地内		
福 山 市			

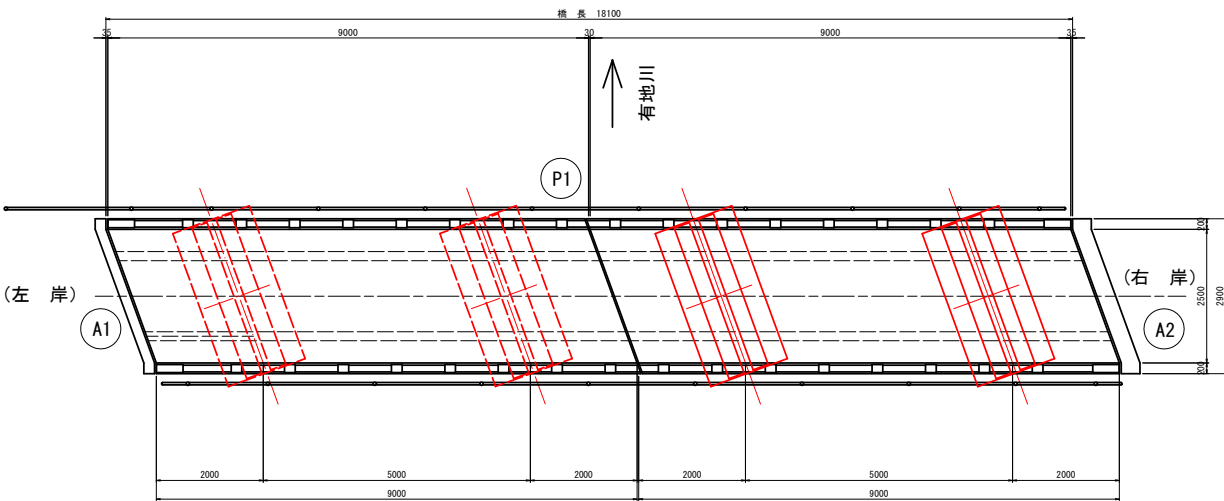
参考図

側面図 S=1:50



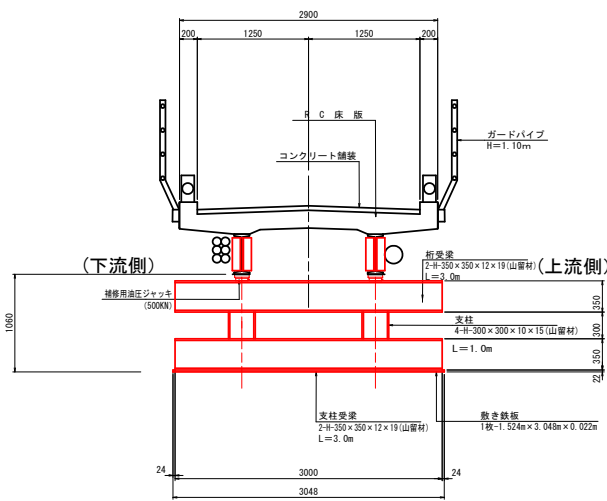
注) 仮設ベントの設置圧は、43.7kN/m²。仮設ベント基礎の地耐力については施工時に確認（キャスポル等）することが望ましい。

平面図 S=1:50

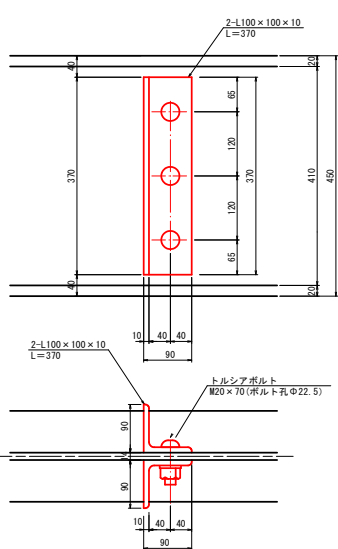


- 補剛材
- 16-L-90×90×10×370 (SS400)
 - 24-トルシアボルトM20×70 (S10T)
 - 24-ボルト孔φ22.5

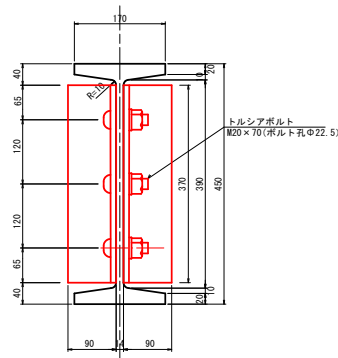
中間断面図 S=1:30



主桁側面図 S=1:5



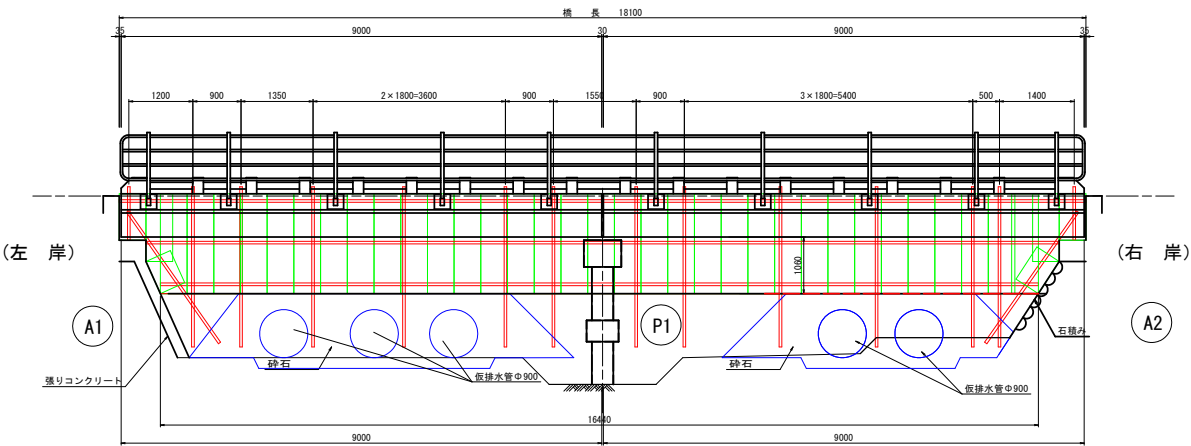
主桁断面図 S=1:5



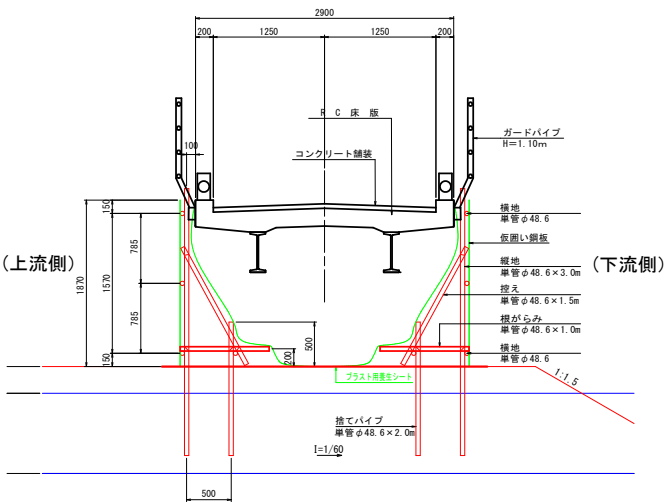
図面番号	2/3	縮 尺	図 示	
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）			
種 別	仮設図	番 号	2 / 3	
橋 梁 名	山崎橋			
工事箇所	福山市戸田町地内			
福 山 市				

参考図

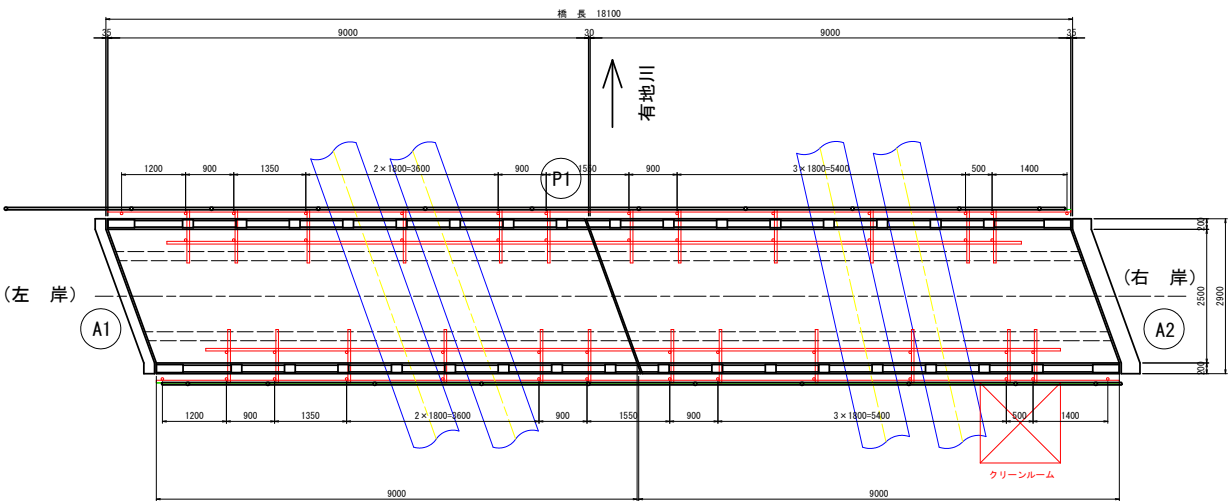
側面図 S=1:50



中間断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



施工要領

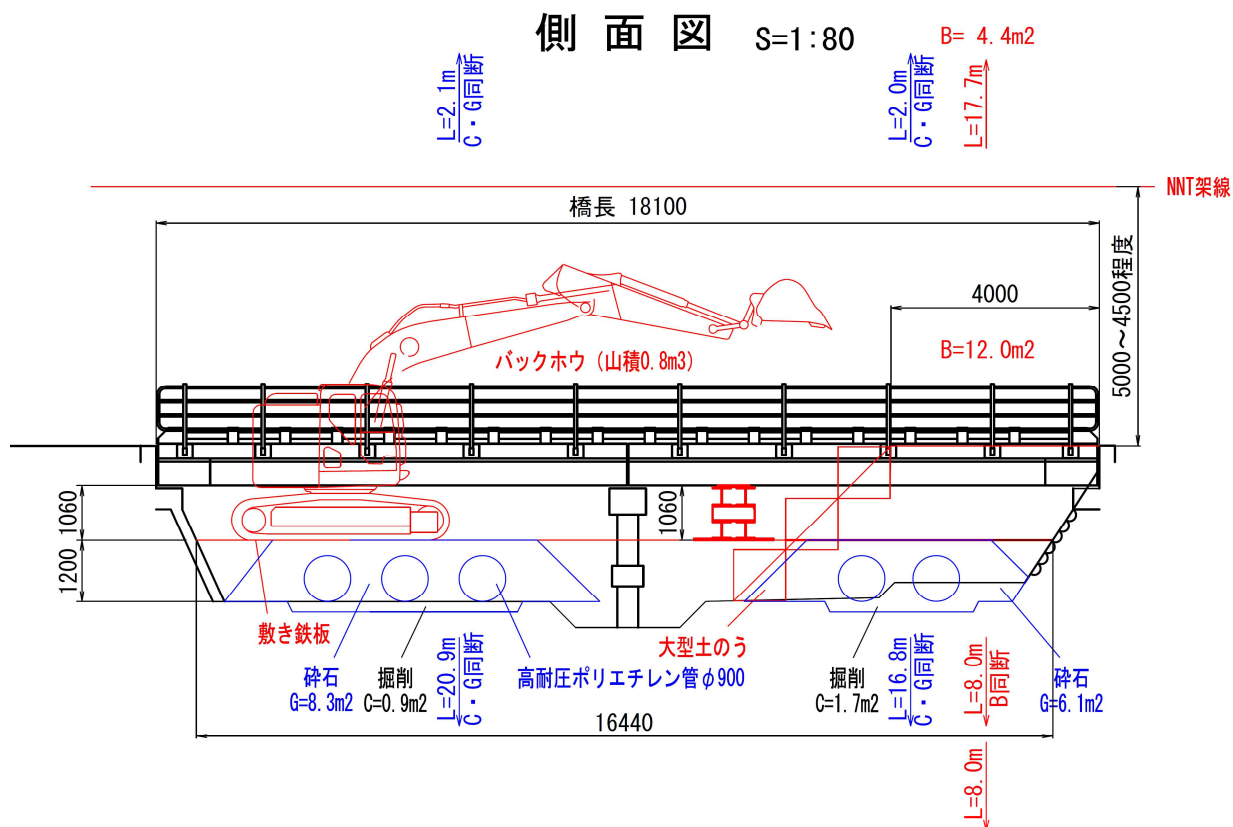
1. 仮囲いを上下流に設置する。
2. 仮囲いの内側に剥離用養生シートを設置する。
3. 剥離剤及び塗膜かすは回収して、処分場に運搬する。

* 出水が予想される場合は、仮囲い鋼板を撤去すること。

図面番号	3/3	縮 尺	図 示
工 事 名	橋梁修繕工事（山崎橋）		
種 別	仮設図	番 号	3 / 3
橋 梁 名	山崎橋		
工事箇所	福山市戸田町地内		
福 山 市			

14) 工事用道路 (W= 4.000 m)

a. 盛土



盛土 (設置・撤去)

$$\begin{aligned}
 V1 &= 1/2 \times (4.4 + 12.0) \times 17.700 = 145.14 \text{ m}^3 \\
 V2 &= 12.0 \times 8.000 = 96.00 \text{ m}^3 \\
 V3 &= 12.0 \times 8.000 \div 2 = 48.00 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 289.14 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

b. 大型土のう (設置・撤去)

$$H1 = 3.000 \text{ m} \sim 1.200 \text{ m}$$

$$\begin{aligned}
 N1 &= 1/2 \times (3.000 + 1.200) \times 17.70 = 38.00 \text{ 袋} \\
 N2 &= 3.000 \times 8.000 = 24.00 \text{ 袋} \\
 N3 &= 3.000 \times 8.000 = 24.00 \text{ 袋} \\
 N4 &= 3.000 \times 6.800 \div 2 = 11.00 \text{ 袋} \\
 \hline
 \Sigma N &= 97.00 \text{ 袋}
 \end{aligned}$$

$$\text{袋処分 } 97.00 \times 2.1 \text{ 袋/kg} = 203.7 \text{ kg}$$

15) 仮支点工

(1) 鋼製サンドル基礎 (1基当り)

支柱及び受梁は山留材とする。

支柱受梁 (H-350×350×12×19) 山留材	W=	150.0	k g / m ×	3.00			
	×	2			=	900	k g
支柱 (H-300×300×10×15) 山留材	W=	100.0	k g / m ×	1.00			
	×	4			=	400	k g
桁受梁 (H-350×350×12×19) 山留材	W=	150.0	k g / m ×	3.00			
	×	2			=	900	k g
合計					=	2200	k g

ベース・梁 (H-350×350×12×19)	:	2基当り	3600	k g	
支柱 (H-300×300×10×15)	:		800	k g	※2基を転用する。
			4400	k g	

敷き鉄板 (1-B1524×L3048×T22)	W=	1.524	×	3.048	×	0.022	
	×	7850	k g / m ³ ×	4	=	3209	k g

(2) サンドルによる降下設備組立・解体 (N=4基)

W	=	2200	×	4	／	1000	=	8.80	t
---	---	------	---	---	---	------	---	------	---

(3) 仮支点補剛材 (全8箇所当り)

補剛材 : L90×90×10 (SS400)	W=	13.3	k g / m ×	0.37			
	×	2	×	8	=	78.736	k g
トルシアボルトM20×70 (S10T)	W=	0.553	k g / 個 ×	3			
	×	8			=	13.272	k g
ボルト孔Φ22.5	N=	24.00	箇所				

(4) 芯出し調整工 (鋼材面用)

仮支点補鋼材	A=	0.37	×	0.09	×	8	箇所	=	0.27	m ²
--------	----	------	---	------	---	---	----	---	------	----------------

(5) 極小規模鋼桁孔明工 Φ22.5、t=14mm (現場)

N=	3	×	8	箇所	=	24.00	孔
----	---	---	---	----	---	-------	---

(6) 補強部材取付工(ボルトによる補強部材)

N=					=	8.00	部材
----	--	--	--	--	---	------	----

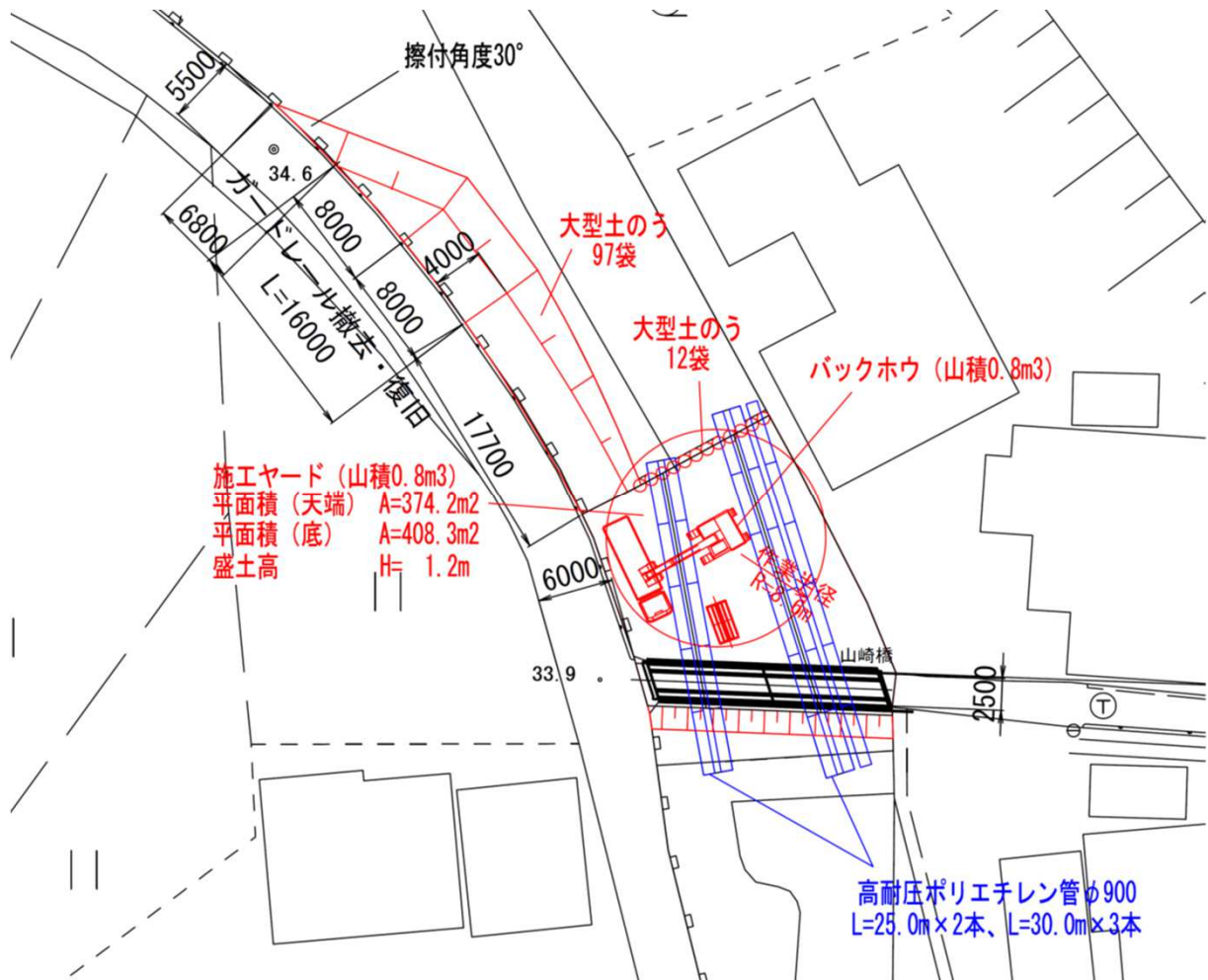
(7) 極小規模高力ボルト本締工 (現場)

N=	3	×	8	箇所	=	24.00	本
----	---	---	---	----	---	-------	---

(8) ピンテール仕上げ工 (現場)

N=	3	×	8	箇所	=	24.00	本
----	---	---	---	----	---	-------	---

16) 施工ヤード（沈砂池を含む）



a. 盛土（設置・撤去）

平面積（天端） $A = 374.20 \text{ m}^2$ （CAD計測）
 平面積（底） $A = 408.30 \text{ m}^2$ （CAD計測）
 盛土高 $H = 1.20 \text{ m}$ （仮排水管 $\phi 900$ + 土被り 300mm）

盛土（全体）

$$V1 = 1/2 \times (374.20 + 408.30) \times 1.200 = 469.50 \text{ m}^3$$

盛土（碎石）

$$\begin{aligned} AR &= 6.1 \text{ m}^2, AL = 8.3 \text{ m}^2 \\ V2 &= 6.1 \times (2.0 + 16.8) = 114.68 \text{ m}^3 \\ V3 &= 8.3 \times (2.1 + 20.9) = 190.90 \text{ m}^3 \\ -V4 &= -0.9^2/4 \times \pi \times (2.0 + 16.8) \times 2 = -23.92 \text{ m}^3 \quad (\text{仮排水管控除}) \\ -V5 &= -0.9^2/4 \times \pi \times (2.1 + 20.9) \times 3 = -43.90 \text{ m}^3 \quad (\text{仮排水管控除}) \\ \Sigma &= 237.76 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

盛土（土砂）

$$V6 = V1 - V2 - V3 = 469.50 - 114.68 - 190.90 = 163.92 \text{ m}^3$$

b. 掘削（盛土流用）

$$\begin{array}{rcl}
 & AR= & 1.7 \text{ m}^2 \text{ 、 } AL= & 0.9 \text{ m}^2 \\
 V7= & 1.7 & \times (& 2.0 + 16.8) & = & 31.96 \text{ m}^3 \\
 V8= & 0.9 & \times (& 2.1 + 20.9) & = & 20.70 \text{ m}^3 \\
 \hline
 & & \Sigma & = & 52.66 \text{ m}^3
 \end{array}$$

c. 大型土のう（設置・撤去）

$$\begin{array}{rcl}
 L= & 12.00 \text{ m (上流)} + & 0.00 \text{ m (下流)} & = & 12.00 \text{ m} \\
 \text{袋処分} & 12.00 & \times & 2.1 \text{ 袋/kg} & = & 25.20 \text{ kg}
 \end{array}$$

d. 仮排水管（高耐圧ポリエチレン管 ϕ 900）

$$L = 25.00 \text{ m} \times 2 \text{ 本} + 30.00 \text{ m} \times 3 \text{ 本} = 140.00 \text{ m}$$

e. ガードレール（撤去・再設置）

$$L = 8.000 + 8.000 = 16.00 \text{ m}$$

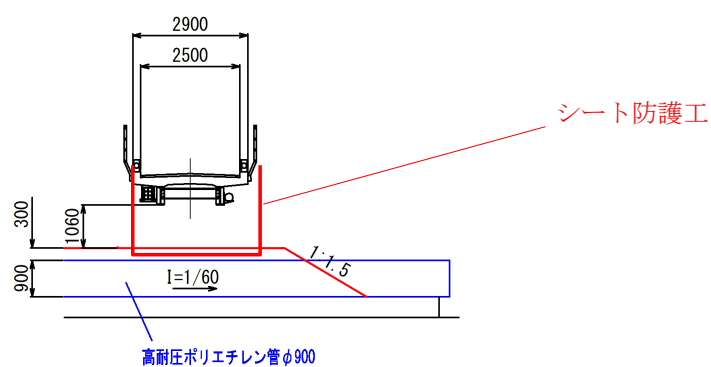
17) シート防護工

工 法	単位	全橋	合計
プラスト用 養生シート工	m ²	47.68	47.68

$$A = \frac{2.9}{\text{全幅員}} \times \frac{16.44}{\text{必要延長}} = 47.68 \text{ m}^2$$

※ 橋梁架設工事の積算より

断面図 S=1:80



15) 仮囲い設置撤去

$$L = 18.10 \times 2 = 36.20 \text{ m}$$